臺灣日日新報 夕刊
二月二十五日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木[illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話○七）臺中支局
臺南市錦町（電話長貳○）臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區靭南通貳丁目（ユタカビルディング內）大阪支局
東京市京橋區銀座[illegible]丁目（[illegible]館內）東京支局

全議員を委員に 國策を調査研究

臨時政務調査部を新設して

貴衆兩院議長が發案

非常時局打開の爲

【東京二十五日發】近衞、富田の貴衆兩院議長は先般來現下の時局に鑑み議會政治並に政黨の威信と信用との回復を併せて其の機能を十分に發揮せしめ以て非常時局打開に處する國策の遂行を期する事の必要を痛感し夫々其對策を攻究中であつたが、最近に至り大體決論を得るに至つたのでこれが實現に乘出す意圖と解さる、而して其の具體策の根本としては議員は常に相戒めて自省を圖り、眞摯以て會議に臨み、誠以て國策を議すると共に他面政黨は確乎不動の國策を國民に提示してこれを實行に移すの方策に出で、以て國民を納得せしむる以外に途なしといふにある、この目的達成の爲め先づ第一着手として兩院に夫々全議員を委員とする臨時政務調査部を新設し、恒久的に國策の調査研究を行ひ、併せて議會政治の圓滑の運用を期せんとするもののやうで、近く兩院各派の諒解を得次第政府側とも折衝、今議會に提案せしむる意向である

「交付金を增せ」

勝氏ねばる 衆議院豫算總會

【東京二十五日發】二十五日の衆議院豫算總會は午前十時十六分開會、前日に質疑を留保した勝正憲氏（民政）起ち、政府より提出した地方交付金七千万円の基礎について質し

勝氏 吾々の考へるところに依れば國稅の增稅の緩和と地方稅減稅の中止とは別の問題であつて今回二億二千万円案を七千万円案にした事に依る地方負擔輕減力は依然として前案よりも一億五千万円減少したものであり、政府の言ふが如く三千万円程度の減少とは認められぬ、又今回の增稅に依り前內閣案よりも苦痛を免れるものは主として上層階級に過ぎぬと思ふが如何

石渡主稅局長 前內閣案にして[illegible]も戶數割廢止によつてこれ等の課稅をうけてゐた人達も負擔がなくなるものではない、又今回の案は間接稅の負擔緩和について考慮を拂つてゐる

結城藏相 中央地方を通ずる稅制根本案については次の議會に提出する事を約束する、今回は七千万円の交付金を出來るだけ多く町村に廻すやうにして地方負擔の輕減を圖りたい

勝氏 （都市と郡部の負擔の不公平を難じた後）吾々のところには每日のやうに交付金增額に望する地方の陳情が舞込んでゐる政府は思切つてこの際これを增額しては如何

藏相 それが眞に農、山漁村の声であるか否かについては爲政者もあなた達も十分考へねばならぬと思ふ、前內閣案は必らずしも最善の案ではないのだから政府としてはもう少し考へさして貰つて次の議會まで待つて頂けないか、若し其の餘裕を與へないといふのなら政府と議會とで協議するの外あるまいと思ふ

林首相 私の最も信頼する財政當局の調査に待つの外はないが只今のところ直く增額するといふところまでいつてゐない

勝氏 增額出來ぬと云ふのは財政の都合に依るのか又他の理由に基づくのか

藏相 財政上の理由は今日はない

勝氏 然らば臨時的に一年限り公債財源によつてでも差支へないではないか

藏相 經濟界の現狀は三分五厘公債を出してもそれだけ消化するかといふ見込みが立たぬのである、豫定の公債を滯りなく發行出來るかどうかについて心配してゐる狀態だから昭和十二年度においても成るべくなら無理しないで發行してゆけるやうにしたいと思つてゐる

政府にイヤミ

けふの貴族院本會議

【東京二十五日發】二十五日の貴族院本會議は午前十時二十六分開會、日程を變更し

一、日本無線電信株式會社法中改正法律案（政府提出）

を上程、兒玉遞相より提案理由を說明し質疑なく九名の特別委員附託、次で

一、樺太市制案（同上）

を上程、植村委員長より委員會の經過結果を報告し採決に入り可決、次で日程

一、國務大臣の演說に關する件

に戾り

大河內輝耕子（研究） 先づ家屋稅と戶數割の課稅標準が滅茶滅茶だと叩き卸ろし農村救濟を徹底的に行ふには戶數割をやめなければならぬと思ふが如何

とて都市と農村の負擔不均衡を責め「地方稅改革を中止したため農村が慨嘆してゐる」とてその實狀を述べ政府の對處策を質す

河原田內相 地方稅制改革に就ては折角攻究中である、農村負擔輕減に就ては地方交付金七千万円を支出するのみでなく將來の根本對策も調査研究するつもりである決して農村を輕く都市を重く見るやうなことは絕對にない

大河內子 地方稅制の改革を行ふと言はれるが何れ成案を得るときは全く骨拔きのものとなるだらう

とイヤ味を並べ地方稅制整理に對する內相の所見を質し他の質問を延期す次で

山隈康氏（研究） 國務大臣の出席が非常に悪いがこれは貴族院を輕視するものではないか

とて大臣席の河原田內相・鹽野法相・兒玉遞相にイヤ味を放ち稅制改革問題につき縷々述べ現內閣の稅制改革方針は中央集權的で地方自治の喪失であると難じ更に都市と農村の負擔均衡に對する政府の所信を質し列餘の質問を延期して降壇

河原田內相 地方稅制改革については種々異論ある事とて充分研究を重ねなければならぬと思つてゐる、地方交付金についても種々運動が行はれる事を憂へられてゐるがこの点についても充分考へようと思ふ、政府としては地方の實情に即した役所の對策を講ずるつもりである

と答へ午後零時八分休憩

中央部の强化成る

質的に充實 陸軍異動評

【東京二十五日發】今回の陸軍異動は進級時期の關係で範圍も廣いが特筆大書すべきは今回の異動で中央部陣容の强化整備を目的とする質的重要性にある

◇…杉山陸相、梅津次官を最高首腦とする中央部の新陣容は陸軍人事の原案作製者であり且つ相當政治的手腕を持つ後宮新軍務局長に配するに中堅層の興望を擔ふ田中新軍事課長、駐支大使館附武官補佐官として支那問題に經驗を有する柴山軍務課長をもつてする中堅幕僚を迎へ

◇…參謀本部には杉山陸相、梅津次官とも親しい第四師團長の今井淸中將が參謀次長となつたが、今井中將は陸軍省內にも根强い支持を持つてゐる、今井中將の配下には侍從武官から轉じた中島總務部長、陸軍中堅將校の信望を集めてゐる石原第一部長の外河邊、武藤兩課長等の人材を網羅してゐるのが注目される

◇…更に教育方面では寺內總監の下に新に近衞師團長香月淸司中將を本部長として迎へ、古莊航空本部長、中島憲兵司令官が陸軍省外部に留任してゐるので陸軍中央部陣容の强化成れりと言へよう

◇…次いで地方陣容では十四期の西尾壽造、山田乙三兩中將の師團長轉出の外十六期の板垣征四郎、土肥原賢二、磯谷廉介、尾高龜藏四中將が師團長へ進出し、十五期師團長時代から十六期師團長時代に移行しつつあることを示してゐる

◇…尙重視すべき個別的異動を見るに今次の政變で陸相候補者となつて注目されてゐた板垣關東軍參謀長が第五師團長に轉出して[illegible]機の表面に置かれたことと、その後任として東條關東軍○○司令官が參謀長の椅子に据わつたこと、その他町尻[illegible]少將が侍從武官として宮中入りしたことである、又無天組の松井命中將が第四師團長に拔擢されたことは特色ある人事と見られる

◇…かくて中央部の態勢に部內における最も强硬な合法的改革意見の保持者とこれが實行に當る政治的手腕ある人材とを揃へてゐるので今後における陸軍の動向は部內關係では全軍の一致團結を實現して統制强化を圖るとともに對外關係では陸軍として決定した政治的要望は徹底的にこれが實現を要求するといふ鮮明な態度をとるものと豫想される

義教延長案 今議會不提出

文部當局の態度決定

【東京二十四日發】林文相は來年度豫算に義務教育實施準備費を計上し延長案の內容につき研究を重ねたが同案は會期三分の二を過ぎた今日樞府を經て議會で審議する事不可能に陷つた、依つて文部省は廿四日院內で首腦が協議した結果豫算總會でこの点質問あつた時はまだ內容を檢討中で恐らく今議會提出は困難である旨を述べ不提出の態度を表明する事になる模樣である、其の場合來年度豫算に計上した準備費五十二万二千円は修正削除されるものと見らる

實行見合せで 硬論出づ

民政政調役員聯合會

【東京二十五日發】民政黨は二十四日午後二時三十分より政務調査會長並に同部長、理事の聯合會を開き協議の結果

一、近く提出せらるべき政府の修正豫算において特に軍事費四千二百万円の實行見合額に關し政府が款項を整へて修正して來ぬ場合は全く憲法違反たるを免れぬこととなる、豫算の形態を整へざる豫算案を審議するが如きは議會政治の根本を破壞することとなるので我々は最後の決意をもつて反對し場合に依つては議會の機能をもつて修正削除すべきである

一、地方交付金に對しては政府の提出せる七千万円では到底國民負擔の均衡を是正して地方財政の逼迫を緩和にすることは出來ないので飽まで增額せしむべく最後的決意をもつて政府に要求すべきである

との强硬論が多數より主張された何れこれがため近く豫算委員と大藏內務兩部の聯合會を開き具體案を練ることとして三時三十分散會

三人制を議題に愼重協議

政友總務會で

【東京二十五日發】鈴木總裁の引退後における政友會の總務會は愈々二十五日午前九時三十分から三總務に限定、安藤幹事長から黨內の大勢的意向たる三人制代行機關の公選を提示しこれを議題として選擧方法その他代行機關の範圍に關する具體案等につき愼重協議が進められた

我が視察團を 支那で歡迎

近く招待狀も送って

【上海二十四日發同盟】一昨年の支那訪日視察團に對する答禮の意味を兼ねて日本より經濟視察團が來支するとの報を得た當地中日貿易協會は去る二十二日非公式理事會で歡迎準備につき下打合せを行つた結果國民政府當局とも打合せを行ふ必要ありとし會長周作民氏は直ちに南京に赴き政府關係者と話合ひを進めたが、二十五日北支より歸る日本側役員在滬紡績同業會總務船津辰一郎氏を待つて中日貿易協會を開いて歡迎プログラムを決定した上正式に日本側に招待狀を送ることとなつた

町會、保甲制度で 議長ちょっと緊張

第二日目の新竹市會

【新竹電話】新竹市會第二日目は二十五日午前九時十分より公會堂に開催、缺席議員二名、第二號議案[illegible]會に入り歲出經常部より逐條審議され臨時部に於て

◎…許旺成氏 町會制度と保甲制度と兩立するは事務の煩雜と負擔の過重を釀成するので相連繫して煩雜を避けよ、而して區長には保正を任命するやうにしては如何

之に對して長島參與より將來充分攻究して行きたいと答へ、その外小出、陳添登、石井氏等からも區町會、保甲制度につきお互ひに反對的意見出でちよつと議場を緊張させる

◎…菅野秀雄氏 役所員に於て職員の給料費は剩らぬやう支出し、職員をして充分働らかしめよ

と述べ山宮局を[illegible]せ、[illegible]、村上正陽の兩氏は項目の流用を戒め、陳其甜氏より學校運動器具の充實を希望して二十分間休憩、十時四十五分續開、土木費其他について數名から質問あり、議事の進行遲々たり、次いで

◎…小出正英氏 參宮講につき質し

◎…長田參與 一生に一度は伊勢神宮に參拜するといふ事を目的とし旅行期間四週間、費用は百二十円乃至百五十円程度とし講をつくり每月積立てるか他に方法を講ずるかして目的を達成したい

◎…菅野氏 [illegible]ありやと質し郡大明氏より國語講習所、公民講習所の成績、國語普及狀況、小出正英氏より部落振興會に對する市當局將來の對策につき質問すれば、長田參與教育論と部落教化論とを一席弁じ零時二十五分漸く歲出經常部第十五款までを審議可決し散會のため休憩

基隆市會開幕

【基隆電話】基隆市會は二十五日午前九時近く開會、先づ川添市尹挨拶並に新年度豫算豫算編成內容を敷衍せる市政方針を述べ、市議代表田中氏之に答へる、型の如き諸報告に續いて（缺席林議員）田尻與八郎兩氏[illegible]會議錄署名者として田中、蔡兩氏を指名議事に入る、劈頭森山氏議事日程變更の動議を提出し成立、諮問第一の報第一號昭和十年度基隆市歲入歲出決算報告の件を議第一號歲入出豫算案の次に廻すことゝなつた、山下參與歲出入增減に就き逐一說明、五分間休憩の後第一[illegible]

臺拓首腦部を 總督が招待

あす官邸で意見交換

國策會社として目出度誕生した臺灣拓殖株式會社は社長以下の陣容も整備し愈々近く本格的に事業に乘出す事になつたので小林總督は二十六日午後六時半より官邸に同社の加藤社長、[illegible]理事、[illegible]に晩餐會を催し陪賓として各部局長、森田知事、石井市尹、坂本外事部長、○司令部林中佐に民間の松木、三好、河村、後宮、近藤各台灣理事、台灣の諸氏をも招き台灣の將來の事業方針其他に關し隔意なき意見を交換する

川越大使上海へ

【上海二十四日發同盟】去る七日上海より南京に入り三中全會の經過を注視しつつあつた川越大使は廿四日午後十時二十分發列車で無事上海に歸着した

英下院で又も 基隆事件

【ロンドン二十四日發同盟】保守黨議員ケーザー氏は二十四日午後下院で基隆事件につき基隆に於ける英水兵虐待事件につき日本政府は充分滿足出來る處置を講じたかと質問したところイーデン外相は未だし、但し目下日本政府との間に折衝に協議してゐるから余は依然滿足な處理に到達出來るとの希望を捨てないと答へた

輸出統制法 外地に施行

【東京二十四日發】二十四日午後の衆議院關稅委員會で平賀吉之丞氏（政友）から輸出統制法の外地施行時期を質したに對し石渡主稅局長から大體內地と同時期に朝鮮、台灣にも施行する方針であると言明した

比島高等辨務官の 任命を上院で承認

【ワシントン二十三日發同盟】ルーズベルト大統領は十七日インデイアナ州知事マックナット氏を比島駐劄高等辨務官に任命し上院は二十三日右任命を承認した

人事

▲赤堀鐵吉氏（新竹州知事）二十五日出府二十七日歸廳の豫定

▲平山寅次郎氏（台灣製糖專務）二十五日內地より歸台

▲中野友禮氏（日本曹達社長）廿五日來台（日之丸館）

▲早房長治氏（王子製紙能率課長）外社員四名二十四日宜蘭より來北（鐵道ホテル）二十五日新竹に往復二十六日南部へ

▲柴田義一氏（台灣興業取締役）▲伊賀晋三郎氏（同羅東工場長）二十四日來北（鐵道ホテル）

▲エビック氏（瑞船アンゼリナ號船長）以下六名二十四日來北（鐵道ホテル）

▲三巻俊夫氏 中南部出張中の處二十五日朝歸北

無絃琴

或る席上で中村法務部長が台灣司法界態度を一應述べて曰く「台灣の司法部を司法省直屬にすべきであると云ふ台灣司法部の獨立を唱へる者があるけれど、台灣の實情から見てこの內台統一論は施策の場合內地並に行かねばならぬ不便がある、說に考へて台灣總督の下にあつては司法部が充分にその機能を發揮し得ないと云ふ理由はない▲人事問題なぞは內地が定年制で悩まされてゐるのに、台灣では各自が自分で省り見て適當に勇退する爲め、六十歲に達してゐる人も無いといふ實情だから定年制施行はかへつて人事の澁滯を來たす恐れもある」等々、台灣司法部の現狀維持說と獨立說とをやり其の序に「內地の行政機構改革案は、台灣の現狀に相似て來る訳で相續法なぞも長子相續の缺陷が問題化されつつあり、內地でも台灣の分頭相續みたいなものにすべく研究してゐる向きもある、で此のところ台灣は內地のお手本みた樣なものさ」と解說々々。

今議會の特色（下）

政黨陣營の 異變は必然的

既成政黨の惱み

尾崎、中野兩氏の演說の他に於ては河上丈太郎、鈴木正吾兩氏のもの等時局の本質に觸れその意見の的を捉へてゐる点に於て河上氏のそれには特に特色が見られた、既成政黨の側では陸軍の核心を衝かんとした宮脇長吉、政黨政治論の川崎克兩氏のものに最も見るべき所があつたやうに思ふ、殊に陣笠上りの宮脇氏があそこまで軍部の內容に觸れて行つた、そしてその出來栄と努力とは相當なものであつた

△　△

併し以上の內、恐らく今議會を通じての時局の本質に觸れた点に於て最も出色であらうと思はれる尾崎、中野の兩氏の演說は一人一黨の尾崎氏、僅か六名を率ゆる東方會の中野氏に依つて爲されたもの、それから次での河上、鈴木の兩氏にしても一つは無產、一つは國民同盟で何れも小黨派に屬するものである、此點に現在の我國の政黨政治に何等かの變異の起るべき必然性を感ぜざるを得ぬ

△　△

あの議會の大きい政、民の既成二大政黨の論戰の低さ、時局の本質に觸れる事を回避する臆病さ、卑怯さはナンであらう、カビの生えた憲法論、政黨政治論に浮身を窶す前に時局の核心を衝いてその本質を檢討解剖するの勇斷あつて然るべきであつた、然るに此事を爲し得なかつた事は政權との裏面的な交涉や、黨內の事情もあつたにせよ、實に殘念であつた、既成政黨はその更生の千載一遇の好機を逸しつつあるかに見える、殘念な事である

△　△

併し、既成政黨の中に純正なる鬪士なきに非ずである、頭腦の秀れた勇者も居るには居るのである、併し、之等の人々ももう既成政黨の中に在つて老人連の指導下に立つて何事も爲し得ないのである、此處に既成政黨の離合集散の兆は充分に見られる、政友會の總裁問題を繞る內紛亦然りである、之は一口に云へば總裁が鈴木から鳩山へ――の定石を行かんとするものと、この定石を變へ阻止せんとするものとの爭ひである、結果はどうなるか、兎も角も既成政黨惱みの一齣、あり、その當面の中心題目である、之を楔機として或は小黨分立時代を現出するのではなからうか、さう云ふ兆候を多分に含んでゐる

△　△

林內閣の出來る前から起つてる[illegible]問題もその一つであつて、現總理の林大將自身も新黨[illegible]立に際して一月十八日に第四回目の會合に出でゐた位である

△　△

さて政府の答弁を見ると、先づ第一に中味のからつぽである事を感ずる。よかれ惡しかれ自力で兎も角自信を持つて答弁してゐるのは大藏大臣一人である、陸相が部內と議會との板挾み的答弁に苦心してゐる事も明らかに觀取される、原田、[illegible]兩相が時々引ッ張り出されてゐるが、附けたりのやうな感じである。米內海相は[illegible]人氣を集め、山崎農相には何かと白眼を送つてゐる、併し總じて[illegible]臣の答弁は中味にからつぽだが、[illegible]實は內閣そのものの內容が無いのだから止むを得ぬ[illegible]ただ空氣は必ずしも淸くない。[illegible]純眞な氣分は大臣席の[illegible]である、恐らく林內閣はこの純真さを[illegible]に今議會を切拔けるつもりであらう（西岡生）

第一回の金現送 來月早々に斷行

それも相當な額を

【東京二十五日發】金現送については過般來大藏、日銀、正金の間で時期等につき協議中であつたが特別の支障なき限り愈々來月早々を期し第一回現送を斷行する事となつた模樣である、現送金は先づ現在の日銀準備中相當な額を送り其後は既定方針通り今後の新產金を必要に應じて順次現送し[illegible]外國銀行に預け入る筈である

その日その日

○ 貴衆兩院の議長が、議院の機能に色揚げ工作をやつてる。之も殊勝しい新趣向

○ 議場では時々クリーン・ヒットも出る。エラーも多い。だが眞劍味を增して來たのは事實だ

○ 日本陸軍の[illegible]、一歩[illegible]歩の前進だ。あとに殘るは國民の政治意識の向上と再認識

○ [illegible]問題が、曖昧のたねとして殘つてゐる、之も早く整理したい

○ 機構への批判を、議員達が議會で法相に詰つ。大分、こたへてゐた者が多いと見える—

○ 頑固くなのが司法の生命なんだ—それが歪んだり、曲つたりしては問題になる

○ 台灣の南北縱貫道路が未だ未完成、縱貫道路が未だ縱貫せず、名稱至極な"置きみやげ"

○ 縱貫中衛[illegible]を、一時にバッサリと脫皮できたら嬉しいかなア

春の流行新型揃(は)編物日本一 主婦之友

編物 三月號の大附錄

主婦之友の編物を着ると既製品や外の編物は着る氣になれぬと大評判!!

▲それも道理です。「主婦之友」の編物は、ありふれた編物など到底かなはないほど着心地がよくて經濟的です。

▲編方はトテモ簡單、說明は至れりつくせりの親切ぶりも「主婦之友」なればこそ!!

▲可愛いお子樣物をドッサリ發表したのでお母樣方大喜び。職業婦人の方々には颯爽とした流行型を、女學生さんには輕快な新型を、若奧樣にはスマートな流行型を滿山發表しました。どれもこれも素晴らしい流行型で、さすがは編物日本一の「主婦之友」だと大評判です。

體に合せて簡單に自由に作れる經濟的な男女小學生用通學服の仕立方で東京女高師教授成田順子先生の特別發表

『主婦之友』三月號は書店も驚く大賣行です。もう直く賣切れますから大至急お求めください。三大附錄つき大奉仕の五十錢（送料一〇錢）東京神田の主婦之友社の發行（振替東京一八〇）です。

キング 新譜
野營の夢 樋口靜雄
草に眠れば 三門順子
淺間日ぐれて 三門順子
夜霧の彼方 林伊佐緒
京の三條 近衞八郎
明治恋じや 新橋みどり
東京さのさ 三門順子
東京おぼこ 林伊佐緒 新橋みどり
お別れネ 松島詩子
曠野はるかに 林伊佐緒
（明小新）富士の山から 三門順子
八木調子 八重子
（ルムバ）八木節ルムバ 林伊佐緒
慕はしの君 松島詩子
最近の傑作盤！
あゝ我が戰友 近衞八郎
國境ぶし 新橋[illegible]

基隆社寮島の大船渠

議會通過を待ち 十二年度から著工

臺灣海運界に一大エポック

竣工は十五年春

交通局基隆港の手に依り十二年度から三ケ年継續工事で建設することになつた基隆社寮島の大船渠は、我が臺灣海運界に一大エポックを劃するものとして各方面に注目されてゐる、これの豫算計畫には最初十二年度百五十万円、十三年度百万円、十四年度八十万円、合計三百三十万円の工事費が計上されたが新内閣の財政方針に依り初年度百五十万円のうち五十万円は十三、十四年度に繰延べられる事となり結局十二年度百万円、十三年度百廿万円、十四年度百十万円の振り當で着工することになり豫算の承認を待つてゐる、現在の内台航路就航は勿論のこと、大型の商船でも悠々と入渠し得る大きさのもので竣工は今のところ昭和十五年春頃と豫定されてゐる

ドニ訪日機 アテネに安着

直ちにシールへ向ふ

【アテネ二十四日發同盟】訪日機ドニ、リーベル兩氏搭乘の愛機は二十四日午前二時二十三分早くもナポリ上空を通過したがこの間豪雨と强風の悪天候と苦鬪しつつ同午前七時〇四分アテネ飛行場タトイに到着した、給油終了次第休養もとらず直ちに午前十時十分タトイ出發ペルシヤ灣東部シールに向つて離陸した

朝日機出發を延期

[illegible]に成功した朝日新聞社のA[illegible]機は二十五日午前中に内地へ歸還する豫定であつたが天候不良のため二十六日に延期した

賞讃に値ひする ア號乘員の救助作業

遞信部 打荻技師談

二十四日激浪の中に敢行された和蘭汽船アンゼリナ號乘組員人命救助作業指揮のため丹水遞信部長は保安課打荻技師以下の係員數名を伴ひ現場に急行し万遺漏なきに努めたが乘組員の熟練もさることながら、陸上に専門技師が居てよく船上の動作に依りその意思を解し得たことがあの激浪と岩石の間から一人殘らず人命を救ひ得た大きな原因であつた、打荻技師は語る

遭難と云ふか目詰まると云ふか全く悲壯な光景でした、あの場所は大きな岩石が限なく隆起してをり、それに季節風に荒れ狂ふ怒濤は山の如くで救ふ人も救はれる人も奉つて死にもの狂ひでしたあの危險極まる波の上でボートに移つた乘組員が万難を排して先づ船尾に漕ぎつけ暫し愛船との別離に泣いてゐたその心情にはほろりとさせられました、ロープが切れたり、ボートが破損したりしてそれでも完全にみんなが救けられたのは何よりでした、坐礁する時船は全速力で走つてゐた模様で船體乘り上げてゐる模様です、附近から漏れる油の海かと思はれる程重油が漏れてゐる點、浸水しない點、あの[illegible]が殆どないと云ふ點、[illegible]に船がビクともせず停船してゐるかの如く見ゆる點などよりして船底には岩が割込んで殆んど滅茶苦茶に破れてゐるのではないかと推察されます、今のところ引下しが出來るかどうか全く不明です、若し出來るにしてもそれまでに餘程の月數を要して船底を修理しなければならないでせう

天候回復を待ち船底調査

遭難船アンゼリナ號の其の後の處置に關し關係者間で種々協議中であつたが天候の回復を待つて潜水夫を入れ船底の損傷の程度を調査し修復の見込あれば成就するプランを樹てて居る

郡山市から視察團

廿七日基隆に到着

福島縣郡山市安積疏水普通水利組合會議員台灣視察團一行三十一名は來る二十七日基隆着で約一週間の豫定にて本島の水利事業其他の文化施設を視察するが一行中には元貴族院議員、縣會議員、醫師、新聞記者等もあり東北地方而も一縣下より右の如き多數の團體視察は今回が始めてで一行の氏名は左の通りである

岡部文四郎、安島典山、根本新太郎、伊藤貞、佐藤德次、大和田安與、三森清一、古川清左衛門、橋本文治、大野三郎、矢吹結城、本田邁之助、松井元、堀田嚴吉、阿部德右衛門、鎌田一郎、佐藤慰太郎、高橋久興、岡部捨三郎、高田重作、香月茂、橋本鉄一、小野口朝吉、馬場准三、増子力藏、渡辺信任、名倉善作、前林五郎、阿部晋丸、渡辺文、吉田正次、松本庄次郎

クチン飛行場工事進む

【サラワク國クチン本社特派員發】新嘉坡の軍備充實と共に、サラワク國に於ても、クチン、ビントロミリー、サタンの四ケ所に新に大飛行場の建設が企圖され、着々其の工事が進捗して居る。クチンに於ける新飛行場は、同市南方七哩の地點ペトラジユに在りて、[illegible]の丘陵地帯を占め、面積一哩平方といふ大規模のもので、昨年四月より着工、目下三百人の人夫を入れて盛に地均中で七分通り竣工して居るが、周圍は數十人の警官にて警備され一般の人達を禁止されて居る（寫眞はクチン市街を望む）

松本代議士負傷の報に 後援者が大擧上京

全水、全農兩組合氣勢をあぐ

【福岡二十五日本社特派員發】新議事堂最初の亂鬪劇を演じた松本代議士は全水、全農兩組合の全支持により福岡市から出てゐる人であるが廿四日の負傷が傳はるや之等後援者三百餘名が全水公會堂に參集夜八時から炊き出しをして徹宵協議の末、二、三百名の同氏應援團を作るに決し臨時列車を申込んだが間に合はぬ為め五十名に減員一行は廿五日午後六時半博多驛發急行で多數同志に見送られ興奮して上京した、幹部等は少數精鋭員の身辺を護る為め必要ならまだ二千でも三千でも送るとすさまじい氣勢を擧げてゐる

メデイカ選手 四月下旬に來朝

歡迎室内水泳競技會を開催

【東京二十五日發本社特電】水上聯盟の招聘により同地滯在中のベルリンオリムピック大會四百米自由型競泳の優勝者米のジャック・メデイカ選手はこの程日本水上聯盟宛歸國の途マネージャー・ベルリン大會の米飛込コーチ・フレッド・キャデイー氏同伴で四月二十七日神戸に入港するからエキジビションレースを行ひたいとの申入があつたので聯盟では早速之を選手に諮つた所承諾を得たので四月二十九日帝大プール（内定）でメデイカ歡迎室内水泳大會を開催することに決定した[illegible]の來信によればメデイカ選手がプレスデンの大會で二百米に二分十六秒六、四百米四分五十八秒の記録を出したとのことである（寫眞はメデイカ選手）

基隆内地人の賭博事件

書類局送り

【基隆電話】既報基隆市内地人紳士賭博事件は第二段の取調べも終了し二十六日朝一件書類のみ送局のこととなつたが最初からの總計四十名に達しその間第一回送局の部が檢察局に召喚される等何れ引續き市民の話題に上つてゐる

福建記者團

來臺は三月

【廈門本社特派員發】福建省新聞記者の台灣視察團は愈々三月十四日（既報二月二十五日出發は誤）福州出發來台に決したが、一行は何れも日刊記者で廈門江聲報[illegible]、廈門華僑日報林[illegible]、福州[illegible]、福州南方日報[illegible]の五名、福建新聞界の中堅どころである

大西洋横斷定期航空路 愈よ今秋から實現

汎米、英帝兩航空會社が

【ニューヨーク二十五日發本社特電】飛行機による大西洋横斷定期航空路が愈々實現される、ニューヨーク市と汎米航空會社との間に今回右航空路開設の契約成立しニューヨーク市クイーンスクのノースビーチに大規模の飛行機發着場を設けることに決定した、右定期航空路は汎米航空會社と英帝國航空會社とが協力で開設し旅客並に郵便物の輸送を開始、開始期日は來る十一月一日で航路は南方航路バーミュダ及びアゾレスに寄航する航路を採る之はアイルランドとニューファウンドランドを通過する北方航路よりは距離に於て約千五百マイルの損失はあるが危險の程度が遙に少いと言はれる、同航空路はニューヨークとロンドンの間に一週四往復となる筈で米政府はこの新定期的航空路に對し最初年七十五万弗を補助し成績によつて百五十万弗まで增加する由でノースビーチに於ける交通の總工費は百四十五万弗、ニューヨーク市は百五十万弗を支出する

珍拳鬪選手

七十六歳の老爺

【グリインヴイル（サウスカロライナ州）二十三日發本社特電】喧嘩好きのアメリカ人はスポーツ界でも遺憾なくその奇抜振りを發揮してアツといはせた、即ち最近行はれる當地方の拳鬪大會に出場を申込んだ選手が何と七十六歳の老人でもと印刷工をしてゐたといふのだが七十歳から百歳までのフエザー級の選手ならいつでも闘つてみせると豪語してゐる

伊藤素軒畫伯來臺

現代日本畫で常代一流畫家と言はれる[illegible]伊藤素軒氏が此程來台、當地で畫會を催する由、同氏は帝室技藝員故今尾景年氏の門より出で北米に渡りカンミング美術學校及エール大學美術部で洋畫修業六年にして歸朝、花鳥山水の外[illegible]の畫に於て世間に知られた人であると、目下台北市老松町常盤館に止宿中

軟式野球大會

台北軟式野球聯盟主催、春期台北市内軟式野球大會は來る三月廿一日（日）より円山球場に於て開催される大會要項は左の通りである△競技方法A、B各組共敗退戰に依る△申込締切三月十日午後三時限り台日社内湯川幹事宛△番組抽籤三月十二日午後四時半本社講堂にて△選手制限年齢は自由學生及び現役選手は出場不可

沖縄聾唖學校生徒

近く實演と演奏

沖縄聾唖學校長田代清進氏は聾唖教育普及並に寄金募集の目的の為來台してゐるが近く引率して來た聾唖兒童及鼠心流琵琶師範鈴木銀水氏に依つて聾唖教育の實演及演奏會を台北及び基隆に於て開催する

三千名の職工團 遂に工場を占據

ダグラス飛行機製作所の罷業

事態極めて重大化

【ロスアンゼルス廿四日發同盟】ダグラス飛行機製作所職工團は二十三日勞働條件改善の强硬な要求を提出して罷業に入つたが突然より二十四日夜にかけ職工三千名は工場を占據して「居坐」ストライキに入つた同製作所職工は總員五千六百名でその内ルイス派系産業別組合委員會に屬する聯合自動車組合員が六割を擁するから罷業職工も鼻息が荒い、この罷業に依り目下製作中の二千四百万ドルの政府註文は忽ち停止の餘儀なきに至り然も政府註文は二千九百万ドルに達するから事態は極めて重大である

グロトンでは八十名を檢擧

官憲つひに非常手段

【グロトン（コネチカット州）二十四日發同盟】潜水艇製造會社エレクトリック・ボート社從業員一千一百名は二十三日グロトン工場を占據して罷業に入つたが當局は廿四日午前突如警官隊繰出し職工八十名を家宅侵入の廉で檢擧した、同社は既報の如く潜水艦建造中であり[illegible]

遞信部保險事務主任會議

遞信部保險事務主任會議は二十五日午前九時から同部會議室で開催された、第一日は遞信部長訓示、山下同部長の[illegible]保險事務について説示[illegible]四時半一日を終つた、出席者は全島一、二等局保險主任十六名、三等局局長[illegible]十四名、遞信部より[illegible]長、山下[illegible]課長外各課長、[illegible]保險係員十名であつた

―東京オ大會に―

比島體育界も 協力と友情を披瀝

バ氏から徳川公に

【東京二十五日發】東京オリムピック大會の[illegible]メンバーとなつた比島體育協會長バルガス氏は[illegible]

千葉縣人會

千葉縣人會春季總會及び家族會は二月二十八日（日曜日）草山羽衣園（山本氏別莊）に於て催す由新加入者は本町二丁目日進堂へ申込まれたしと尚當日台北出發は午前九時大和町巴バス發着所より出發されたしとの事である

本社工場參觀（二十四日）

新竹州三叉公學校兒童百六名

▲内台線上り便二M機は二十五日午前五時三〇分台北飛行場を出發乘客は大山綱隆、林熊二の兩氏

▲島内西線下り便スーパー機は二十五日午前八時台北を出發、乘客は林發氏等六名

メガホン塔

▲万華驛構内に貨物列車が着くと附近の子供が貨車に上つて甘蔗を盗食してゐる危險この上なし（危險生）▲近頃の兩切煙草は徃かゆるくて悪質だ（ニコチン男）▲後飛驛での内地人と本島人の大喧嘩はみつともない（出氏）▲小瀧幸子さんの[illegible]を拾得保管中（御成町二丁目[illegible]轉車店）▲停車場附近[illegible]號が來てゐます（羅東街竹林二〇〇円俊彦）▲二十二日夜宮前交横にて白のショール拾得昭和町派出所に届けました（藤川）▲有馬さん荷物と風呂敷包を忘れてゐますから取りに來て下さい（台北驛小荷物係）▲廣島縣川身中川義太の住所御存じの方は教へて下さい（東勢で訣れた姉）

あすの天氣

（台北測候所發表）

台北地方　東の疾風雲小雨
北部　北東の疾風雲小雨
東部　北の和風雲小雨
西部　北の和風曇一時晴
南部　北の和風曇一時晴

概況（二十五日）七六六ミリの高氣壓は揚子江流域に停留し七五八ミリの低氣壓は石垣島の西部海上に在り東北東に進む模様、本島は北部が雨他は晴近海は北東の疾風波浪稍高し

各地溫度（二月廿五日午前十一時）

恆春	三〇・一	台中	一六・五
台東	二七・八	台北	一三・二
高雄	二四・七	基隆	一二・七
台南	二〇・〇	那覇	一三・〇
澎湖	一五・七	鹿兒島	一三・七
阿里山	一一・五	長崎	一一・〇
花蓮港	二三・五	石垣島	二五・三

今晩の映畫

◉國際館（第一回二時廿分上映）
1 愛[illegible]
2 アスファルト
3 最後の中隊

◉タイゲキ（第一回一時半上映）
1 千兩長脇差
2 高飛成層圏
3 台日發聲ニュース
4 新[illegible]選

◉新世界館（第一回十二時半上映）
1 からくり劍法
2 任侠やくざ節
3 マンバ
4 踊る[illegible]

◉大世界館（第一回十二時半上映）
1 台日發聲ニュース
2 僕の東京地図
3 大岡政談[illegible]
4 愛の責任

◉芳乃館（第一回十二時上映）
1 女人[illegible]
2 台日發聲ニュース
3 仇討[illegible]
4 [illegible]時次郎

臺日案内

書籍　手帳 取次　臺北明石町二の六　振替臺北七九九　[illegible]株式會社

醫院　X光線新設　臺北大和町[illegible]　小林醫院

内地土産　おみやげ品とタンスの御用は榮町三共舍へ

寫眞　寫眞材料及現像は　京町[illegible]

時計眼鏡　メガネ専門は和田　臺北本局前[illegible]

メガネ専門　日光堂　臺北市表町二ノ一〇

山内のメガネ專門　榮町[illegible]

料理屋　料理辨金本家　仕出し

折詰辨當・賀茂川

樂器　ギター特價拾圓　臺北市本町三丁目

藥種商　大丸藥局　本町三丁目

淋病に黒焼

金融　電話　商品券債

商品券・債券　電話賣買

恩給　年金低利立替

恩給者は先づ[illegible]

小口金融

洋服　合子服　日進マーケット

雜貨　ニュウ村井

ワイシャツ　村井行商

文化卓子椅子

特許商標　弁理士岸喜錙

應接セット

ベニヤ

宛名印刷

日本人形・フランス人形

佛具花環

整理品トラック

ヒノデ便所香水　芳香液

滿洲事情知りたき方へ　北滿牡丹江　金鈴街七ノ一　商事社へ

會葬御禮　本多澤一

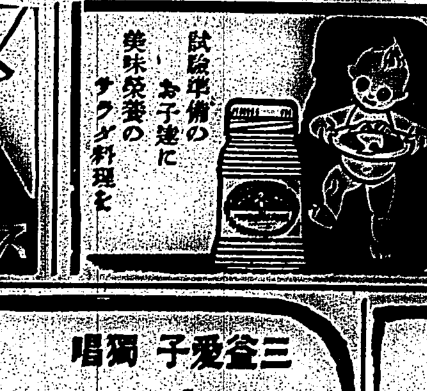
松竹映畫・戀愛無敵艦隊・主題歌・初春哥劇の「ぐらくもらく」貨舗發賣

可愛いがられて

喜代丸　タイヘイレコード

やまひの床を見舞ふカルピス

カルピス

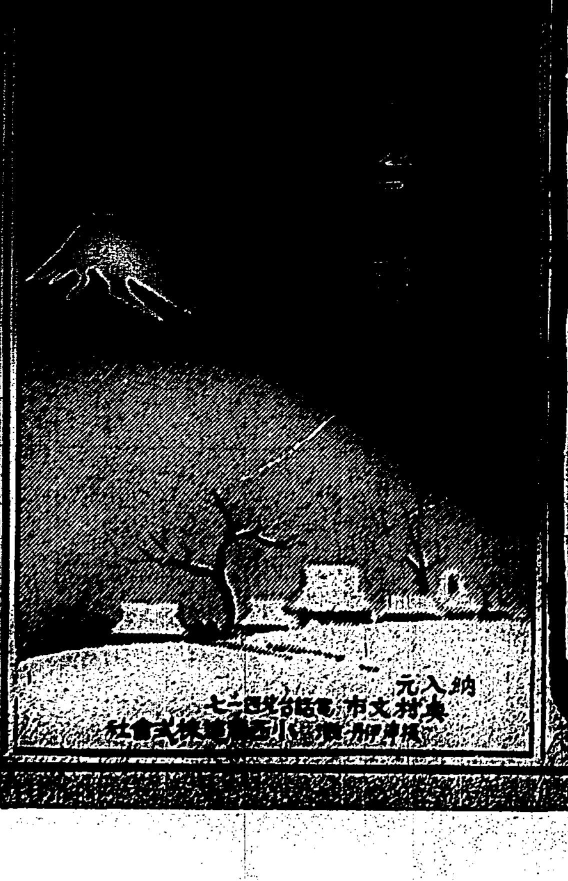


キユーピーマヨネーズ
試験準備のお子達に美味榮養のサラダ料理を

風邪は萬病の基　バファーは[illegible]

藥で治らぬ胃腸病に　ニルニの食養法

そこだ　そこだよ　中野忠晴　二葉あき子
だつてネ　伊藤久男　豆千代
東京万才　松平晃　豆千代
田家の雪　音丸
乙女十九
春、感傷のメロデー…
西條八十詩　古關裕而曲
春の大空　二葉あき子　霧島昇



納入元　臺北市文武町[illegible]　株式會社[illegible]

三益愛子獨唱
灯影の嘆息
西條八十詩　三宅幹夫曲
「夢の街かあかりし」白金つぼみ
二月廿日發賣
ビクターレコード

近代氣質にピッタリとくる
ミランシンチック

御殿女中

（201）

邦枝完二作　神保朋世画

乗物の中の彩村の顔は眞ッ蒼だつた。

嵐の後（三）

身分のよい武士の[illegible]の乗物を[illegible]つた[illegible]上の人が、[illegible]明智の門を[illegible]、寺社奉行[illegible]とは[illegible]あつて気づくらのはなかつたが、彩村はその顔に見覺えがあつた。目立たぬ樣にしてゐるが、寺社奉行が直々延命院への道へ向つたのは、既に[illegible]行つ彩村に取つては容易ならぬ驚愕であつた。

「若しかすると。……」

月光の[illegible]したのではないかと思ふと、彩村は自らぎよッとせずにはゐられなかつた。さういへば、今月に限つてわざく[illegible]水寺領代[illegible]の乗物を[illegible]延命院に向けたのに、[illegible]するおころを[illegible]山に[illegible]れた上、[illegible]に心を残して帰らなければならない首尾になつたのも、何となく不審な出来事のやうに思はれてならなかつた。よしんば[illegible]が[illegible]り合せたのだとしても、どうやらこの乗物に注意を拂つてゐた樣子から察すると、彩村の[illegible]といふ[illegible]が[illegible]つて、何んのために[illegible]寺から延命院へ乗物を向けたかに就いては、一[illegible]あるに相違ない――それは[illegible]するとしても、お[illegible]の身の上が[illegible]ない。……彩村は我れに[illegible]我れに答へてみたが、不安はますく[illegible]つて来るばかりであつた。[illegible]を見させに、伏の召使を延命院まで帰らせて見ようかとも思つたが、いくら[illegible]の中とはいへ人目につく[illegible]中が引返して行つたのでは、[illegible]められて却つて疑を[illegible]ついて[illegible]出す[illegible]来にならないものでもないと思ひ止つた。その時、ふと彩村の[illegible]に[illegible]んだのはお万と[illegible]の事であつた。こんどこそ、乗物が暫らく[illegible]彩村は[illegible]と[illegible]した。[illegible]るに足らぬ小[illegible]と[illegible]へて、氏方から[illegible]しきへしなければ、ただ[illegible]を[illegible]れて何事も[illegible]らずやうな[illegible]もあるまいと、たかをくくつて打捨てておいたのが一期の不覚、もしもあの二人、殊に[illegible]の口から[illegible]れたと[illegible]ればそれこそ取返しのつかぬ一大事。……さう考へて来ると彩村は、狭い乗物の中でぢツとしてゐることが出来なかつた。

「これ、乗物付ちや。」

「はい。」

ぴたりと行列が停ると、彩村は[illegible]込んだ声で叫んだ。

「ころ、ころは[illegible]やらぬか。」

「旦那様、おころ様は延命院へお残り遊ばしました。」

さう[illegible]さうに答へたのはお[illegible]だつた。

「[illegible]か、そなたでもよい。急いで[illegible]乗つて[illegible]水寺下の[illegible]御[illegible]まで行つて来や。」

「はい。」

「外から変つた様子がないか確めて来るのぢや。見たら直ぐに引返してわらはに[illegible]いて知らせてくりや。」

「かしこまりました」

「急いで行きや。」

「はい。」

彩村が呼び馴れたおころの名を口にする程慌ててゐたのも無理ではなかつた。

若しも[illegible]の口から秘密が洩れてゐるとしたならば、近頃彼の乱行も[illegible]してゐるに相違なく、寺社奉行から[illegible]の老中若年寄の耳に[illegible]して、[illegible]水寺下の[illegible]には町奉行の手が[illegible]入つてゐることは明らかだつた。さうなれば[illegible]から大奥支配の[illegible]へも[illegible]があつて、彩村の[illegible]は目前に迫つてゐる訳だつた。

再び歩みはじめた乗物の中で、彩村の眼には先ッき見た[illegible]の[illegible]が、心を[illegible]かすやうに大きくありくと浮び上つた。

不安と[illegible]に[illegible]つて、ただ寺社奉行が偶然あすこを通り合せたのに過ぎないやうにと、彩村は眼をつぶつて了つた。

公開欄

▲本欄は讀者の自由論壇、中傷は不可▲行数は十五字詰十行以内▲匿名仮名併記氏名は明記

臺北帝大と入學者過少の因

山田生

▽台北帝大の入学願望者の少数なるを以て直に大学の不要論を唱へ又其学校を廃止するは必ずしも容易でない。学生の多きを以て誇るならば内地の私大を以て最も立派な学校と云はねばならない。一万人以上の学生を教育するにマイクロフオンで以てし教師と学生の[illegible]は[illegible]く[illegible]的に学生を社会に送るよりも台北帝大の如く少数なりとも教師と学生の[illegible]を[illegible]気の中にて薫陶を受けた[illegible]な学生を社会に送る方が[illegible]社会に貢献する所大であらう

▽それはさて[illegible]願望者の少い原因は台湾に[illegible]が一ツしかなく而も[illegible]外の[illegible]と全部は内地を知らない台湾育ちである結果、大学だけでも内地にて勉学せんとの希望を抱く、斯る事情にも不拘、一方[illegible]人は台北帝大の学生を内地帝大[illegible]生より一段低いものかの如く考へるので今[illegible]にと内地の帝大へ走るのである。台北[illegible]生が台北帝大に入学するに非ざれば[illegible]者の少きことは当然ではないか

▽抑々台湾の人は台湾[illegible]物を卑下する傾向がある。台北帝大の学生にしろ決して内地の学生に劣りはしない。寧ろ優秀な学生であると断言する。何の帝大にしろ三年の期間に其学識に大差ある筈はないではないか、因に台北帝大の[illegible]のパス率が内地の諸大学に比し台湾の如き不利なる條件と少き学生であるに不拘良好であることがこれを物語つて居るではないか。教師と学生は親密で学生の[illegible]なる点に於ては台北帝大は内地に其の実例を見ない。台湾在住の社会人は台北帝大の学生を[illegible]の念を以て迎へる様ありたい

雜誌紹介

▲少年倶楽部（三月號）[illegible]侠々[illegible]（佐藤紅緑）[illegible]（子母沢寛）出世倶楽部（佐々木邦）山の友情（大田黒[illegible]）[illegible]の[illegible]と[illegible]（下村悦夫）ボタンの火の花（上[illegible]）世界の出来事（赤[illegible]）のらくろ[illegible]（田河水泡）命がけの仕事[illegible]・[illegible]の[illegible]ダイヤモンド其の他[illegible]附録として「少年[illegible]」がある（定価五十銭東京小石川音羽町三ノ一九大日本雄弁会講談社）

▲家の光（三月號）家庭[illegible]（[illegible]十郎）人生の楽しみ（菊池寛）[illegible]日本の組合[illegible]（[illegible]）[illegible]らう（伊[illegible]）世の中の動き早わかり（大田正孝）各方面の試験官[illegible]（伊[illegible]）こども家の光、其の他（定価二十銭東京麹町有楽町一ノ九産業組合中央會）

▲山と渓谷（四二）[illegible]の旅冬の[illegible]（伊東[illegible]氏外二名）氷雪の[illegible]山（安[illegible]）[illegible]山を[illegible]つたアイの[illegible]（[illegible]）[illegible]行記（小林[illegible]）[illegible]について人々（[illegible]）スキー・山・第一線の（[illegible]）二月の武尊山、大雪山[illegible]スキー行等の記録及美しいグラフイツク、其の他山と渓谷の[illegible]を満載、[illegible]が豊富で美しいのは何よりよろこばしい（定価五十銭東京[illegible]田村町六ノ四其社）

新興オールトーキー
沓掛時次郎

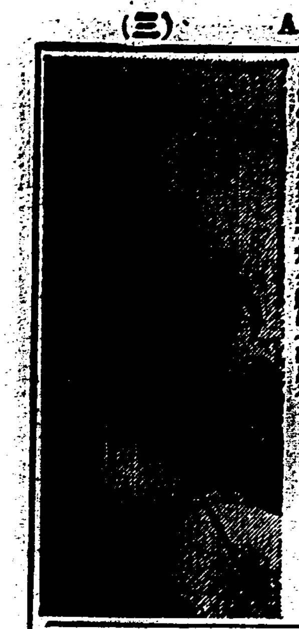
廿五日より芳乃館

▲長谷川伸の原作を[illegible]が映画化したもの、[illegible]新八郎、山田五十鈴[illegible]が主演、尾上[illegible]五郎、荒木[illegible]等が助演してゐる

▲ものがたり――

[illegible]を[illegible]した[illegible]川一家の[illegible]大田の三蔵（尾上[illegible]五郎）を斬らうとして、大[illegible]（[illegible]）[illegible]の三太郎（[illegible]）、[illegible]目の[illegible]吉（[illegible]）それに一宿一飯の[illegible]から[illegible]した沓掛時次郎（[illegible]）の[illegible]人が[illegible]つた。三蔵は女房おきぬ（山田五十鈴）と一子太郎吉（[illegible]）と共に旅立ちの身仕度中だつたが時次郎の[illegible]め斬り倒された、三太郎がおきぬと太郎吉をも斬り倒さうとするのを[illegible]けて、共に旅へ出る

▲[illegible]の[illegible]命を[illegible]し、又三蔵への[illegible]からやくざの足を洗つて、おきぬと共にその日の[illegible]を[illegible]に求めて[illegible]歩いたが、[illegible]かる貧困の生活。それに三蔵の子[illegible]で生れようとしてゐる今、時次郎は金が欲しいと思つた、安宿の[illegible]に一[illegible]の仕[illegible]口を[illegible]へられた、それは[illegible]の助人料だつた時次郎はおきぬに[illegible]してその仕事へ出た、その後でおきぬは難産の床に[illegible]ら死んで行つた、時次郎は、おきぬさんあんたに一言云いたい事があつたと泣き、やがて太郎吉とおきぬの骨を抱いて、旅に出る



▲同時上映はオール・トーキー「仇討[illegible]栗毛」月田一郎と森静子の主演、[illegible]、小[illegible]、寺島[illegible]の助演になる明朗な時代もの、[illegible]子の[illegible]を見るため、[illegible]死と見せかけ偽の仇を作り、親[illegible]はそつと監視する、息子は仇討に出かける、途中美しい娘と知合になり、その娘の仇が、偶然同じ仇だつたので、目出度く本懐をとげると云ふ、月田には好適の芝居である

――写真は「沓掛時次郎」―

松竹オールトーキー
新道（[illegible]の[illegible]）

廿五日よりタイゲキ

▲東日大毎に連載せる菊池寛の小説を五所平之助監督が映画化したもので、主演は田中絹代、川崎弘子、上原謙、佐分利信、佐野周二[illegible]、高[illegible]子、吉川満子、岡村文子、山内光、水島光代、花井[illegible]、[illegible]子、小[illegible]、[illegible]郎等が顔を揃へてゐる大[illegible]が[illegible]つてもいい近来の興味深いメロドラマである、助演として

▲朱[illegible]の[illegible]は[illegible]的にもすぐれた[illegible]を見せ、近代女性の[illegible]本のやうた[illegible]とした宗方朱実（田中絹代）と[illegible]一平（佐野周二）の恋愛交渉、古風な美しい女性[illegible]子（川崎弘子）とその恋人野上（佐分利信）との関係さうしたものが、五所の[illegible]と小原[illegible]二のキヤメラで美しく描かれてゐる

▲同時上映に松竹オール・トーキー「千両長脇差」（市川右太ヱ門主演、久松[illegible]技、志[illegible]郎特別出演）と、メトロ月本[illegible]「高飛成層圏」（ジヤツク・ベニイ、テツド・ヒーリイ、ユーナ・マーケル共演）及「[illegible]ニュース」の三本である――写真は「新道の一場面」

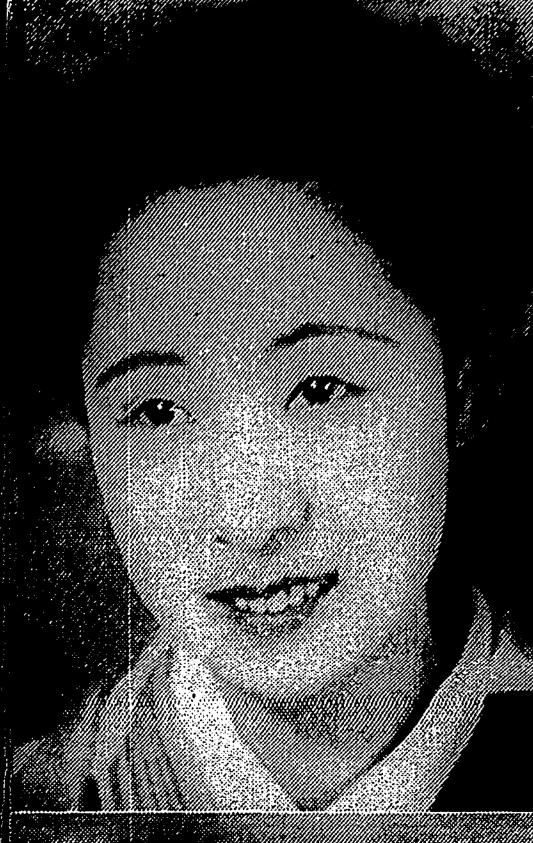
垢・汚れを完全に清掃！

マスターコールドなら乳化が完全ですから石鹸では落ちない皮膚深部の汚れまで綺麗に清掃します。

粘らず脂ぎらずさつぱりした使ひ心地はコールド中での傑作、洗顔、お化粧落しに第一等です。

肌アレを癒し眞から若返る

配合の獨逸特許スキンホルモン性剤の効果で豊富な栄養が深く滲透しますから、季節の變り目に敏感なお肌も、絶對にアレることなく、お就寝前のマスターコールドのマッサージはお肌をぐんぐん若返らせます。



（寫眞上）粉つぽいうどん粉化粧では額も頬も鼻も同じ白さで陰影がないから田中絹代さん程の名女優でもお顔が平べつたく表情が死んで見えます

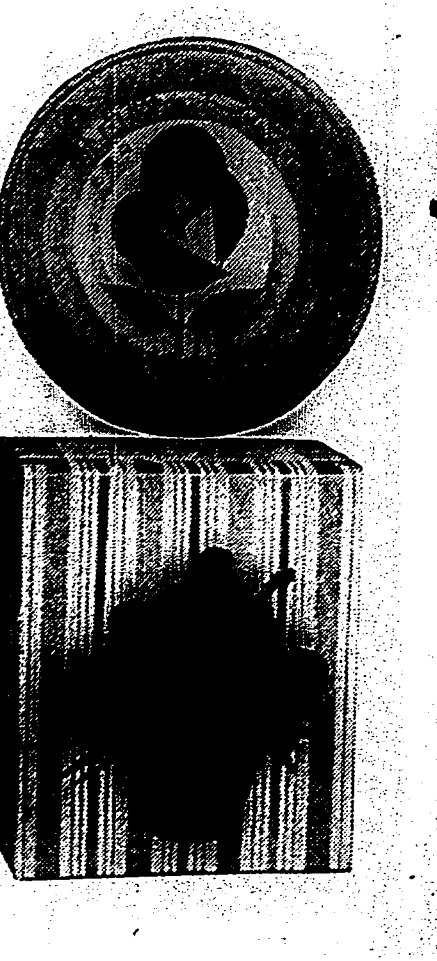
（寫眞下）濃くも淡くも思ひの儘につくマスター粉白粉のお化粧なら絹代さんの深みある美しさが生々と表情を生かします

獨特の色素と香り

色素は佛蘭西一流會社の最高級品ですから色味は飽くまで明澄。色素ヤケの心配絶對になく、優雅な匂ひはこれで國産かと驚く程素敵です。

効果的な微粒子

粉は日本女性のお肌に最適の微粒子。それに比類ない獨得操作による個性ですから濃淡自由について崩れず永モチするお化粧が思ひの儘です。



マスター粉白粉

千番　粉白粉

携帯に便利　固形粉白粉！

マスター　ハンドパクト（中形）　プチパクト（小形）

MASTER FACE POWDER

衆議院豫算總會
決定至廿六日續開
爲質問通告者尚留多數

東京二十五日電。衆議院豫算總會。初訂二十五日。截止質問。而依審議。乃至二十五日。猶有民政黨八名。政友會六名。小會派三名。計十七名之質問通告者。是日到底質問全部不終其説明。該理事會。去二十四夜協議結果。決定至二十六日。繼行質問。自二十七日。入分科會云。

以議會權能削除
求增地方交付金
民政政調役員聯合會主張

東京二十五日電。民政黨二十四日午後二時三十分開政務調查會長。並同部長。理事聯合會。協議結果。多主硬論如左。

一、政府近提出。修正豫算。特關軍事費四千二百萬圓之實行中止額。政府整欵項而不爲修正之時。不免違背憲法。並會計法豫算形態不整之豫算案。如或審議不異於破壞議會政治之根本。我等最後決意反對。當以議會權能修正削除。

一、地方交付金。政府提出七千萬圓。到底不得是正國民負擔之均衡。而鞏固地方財政之基礎。必使增額。最後決意。要求政府。

又近擬開豫算委員與大藏內務兩部聯合會。籌具體案。三時三十分散會。

人權蹂躪問題
政友徹底追究
衆議院豫算總會席上

東京二十四日電。二十四日衆議院豫算總會。午後一時四十五分再開。立川平氏（政友）曰。近來人權蹂躪問題頻發。想爲當局對職權濫用官吏處置不宜。現內閣。有徹底糾彈之意耶。首相曰。亦有職務熱心之餘。致使蹂躪人權之事件。事實不詳知。余且本諸祭政一致之精神。從根本改革之。

立川氏。更舉全國警察官司法官人權蹂躪事件之實例。詳細說明。以拷問所關參考品數葉寫眞。示諸閣僚。

立川氏曰。如斯不祥事。行之聖代之事實。所管大臣。所見如何。

鹽野法相曰。當局其後調查。各爲處分。其後再或有之。斷然處置。

河原田內相曰。內務省今後無使斯不祥事再作最善努力。

立川氏曰。關帝人事件。革手錠其他拷問。該檢事在法廷所述。與當時司法當局。在第六十八議會所言。有所不合致。孰眞耶。法相曰。孰爲眞實。余言無所準備。時政友會席。猛烈揶揄。名川侃重氏（政友）。爲該事件辯護人。起述當時狀況。並斷言檢事雖否定問意思。全爲僞言。法相曰。檢事在法廷所言。想裁判長。能爲嚴正判斷。時議員席有喇罵。以無視議會之氣乎。立川氏曰。如斯不法檢事。法相有行使行政監督權處分之意耶。法相曰。待十分調查設法。立川氏曰。有以他留權與檢事之意耶。法相曰。與檢事以拘留權。問題重大。且與地法制亦有關係。必要十分研究。立川氏曰。與檢事以拘留權之事。轉使檢事之恣行。曲成合法。以外別無效果。此可斷言。

政府二法案
提出議會

東京二十五日電。政府二十四日兩會散會後。開院內閣議。決定提出議會二法案如左。

一、恩給法中改正法律案。

一、恩給金庫法案。

川越大使
歸抵上海

上海二十四日電。去七日由上海入南京。注視三中全會經過之川越大使。搭二十四日午後十時二十分列車。無事歸上海也。

美日單水不變

紐育二十四日電。本日當地美日爲替。依然爲二十八弗五十六仙。

金第一回現送
來月匆々斷行

東京二十五日電。金現送所關。近來大藏。日銀。正金之間。方爲協議其時期等事。如無特別障碍。訂來月匆々。斷行第一回現送。即現送金。先送現在日銀準備中相當額。其後照既定方針。將新產金。應所必要。順次現送。以存當該地外國銀行云。

外務省通商局一部
貿易外局移管保留
擬待總務廳成後研究

東京二十四日電。政府爲期貿易機構一元化的統制。決定於今議會。計上豫算案。將商工省貿易局。擴大強化。並制定貿易組合法。貿易統制法。充實輸出補償法。提出法律案。而關外務省通商局。一部移管於外局之事。在前內閣時代。爲外務省反對。懸案至今。伍堂商相。近來與林外相。懇談結果。縣期解決。然致問題紛糾。決定保留。待總務廳成。再與他機構改革案。同時研究云。

政友緊急總務會
議設代行機關案

東京二十五日電。鈴木總裁引退善後措置所關。政友會緊急總務會。二十五日午前九時三十分。開之三綠亭。安藤幹事長。提示黨內之大勢意向。在公選三人制代行機關。乃爲議題。而就選舉方法。其他代行機關設置。所關具體案等。愼重協議云。

鹽糖新營
第二工場落成

鹽水港製糖新營第二工場去一月竣工。現既運轉。二十五日盛舉落成式。川端殖產局長欲出席。二十四夜行車。偕土井特產課技師。楊梧屬等南下云。

臺北防衛團
幹部教育

臺北市各地區防衛團。樹立各班共通之基本訓練幹部指導計畫。月二十五日下午六時半。開幹部教育會。由市囑託千葉少佐指導。實施左記課目。

一、防空一般之要領約一時間。

一、精神的訓練重要性。各個教練。部隊密集訓練。傳令基本教育。約一時間。

一、防毒具取扱法。及其練習（就防毒面）約一時間。

右教育終了後。對警報班係長以上。指導云。

チビタンチビスケ
(58)
カハモリヒサヲ
1
カクレガガ ワカリマシタヨウ
2
イヌヲタスケテ ヒヨイトミルト ウラノアパートノ エントツカラ キイロイケムリガ デテルデハアリマセンカ
3
サウダンガ キマッタラ…
4
キヲツケテ
デカケマセウ

陸軍記念
馬公行事

馬公陸軍記念日行事。去十九日午後一時。在廳會議室。開軍官民代表者會議。決定如左。三月七日。由國防義會及鄉軍主催。配布宣傳單及宣傳圖。同九日。午前十時。由防衛團。警察。海軍部隊。實施防空演習。若有飛機飛到。陸軍部隊亦擬參加。午後三時。由學校。鄉軍等。清掃千人塚及一爲忠魂碑等。午後七時。由國防義會及鄉軍主催。在馬公會館。開映畫及講演會。講演者爲兼松要塞司令官。同十日。午前十時。由街主催。舉行愛國運動。參拜神社。及旗行列。參拜千人塚。午前十一時。由陸軍。鄉軍。警察隊。實施記念演習。正午開軍官民合同大野宴。午後五時半。陸軍主開祝宴。其他且有從軍者優待。傷痍軍族慰問。傷病兵慰問等。

陸軍異動評

東京二十五電。今回之陸軍異動。進級轉補之量的範圍甚廣。其可特筆大書者。爲今回異動以中央部陣容之強化整備。爲其目的即質的之重要性也。杉山陸相。梅津次官。最首腦之中。央部新陣容。爲軍人事原案作製者。且有相當政治的手腕之後宮新軍務局長。配以負中堅所輿望之田中新軍事課長。駐支大使館附武官輔佐官。以支那問題。有經驗之柴山軍務課長。迎入爲中樞幕僚。參謀本部。則與杉山陸相。梅津次官相親之第四師團長。今井清中將。入爲參謀次長。今井中將。於陸軍省內。亦具有強固之支持。今井中將配下。爲自侍從武官轉入之中島總務部長。及備受陸軍中堅將校所尊敬之石原第一部長。以外更網羅河邊。武藤兩課長諸人材。爲堪受注目也。又如教育方面。於寺內總監之下。新以近衛師團長香月清司中將。爲本部長。古莊航空本部長。中島憲兵司令官。均留任於陸軍省外局。陸軍中央部陣容強化成立。其次爲地方陣容。十四期之西尾壽造。山田乙三兩中將之師團長轉出。此外爲十六期之板垣征四郎。土肥原賢二。磯谷廉介。尾高龜藏四中將。進出爲師團長。示十五期師團長時代。移行于十六期師團長時代。又自個別的異動觀之。今次之改變。以陸相候補者。受注目之板垣關東軍參謀長。轉出爲第五師團長。置於待機之姿勢。後任爲東條關東軍○○司令官。其他可見其步驟。又無天組之松井命中將。受拔擢爲第四師團長。是亦可視爲有特色之人事也。如是則中央部要職。置部內最有強硬之合法的改革意見保持者及有實行政治的力量之人材。今後陸軍動向。部內關係。得以實現全軍一致團結。統制強化。對外關係陸軍得以所決定之政治的要望。徹底的求其實現。是亦以豫想者也。

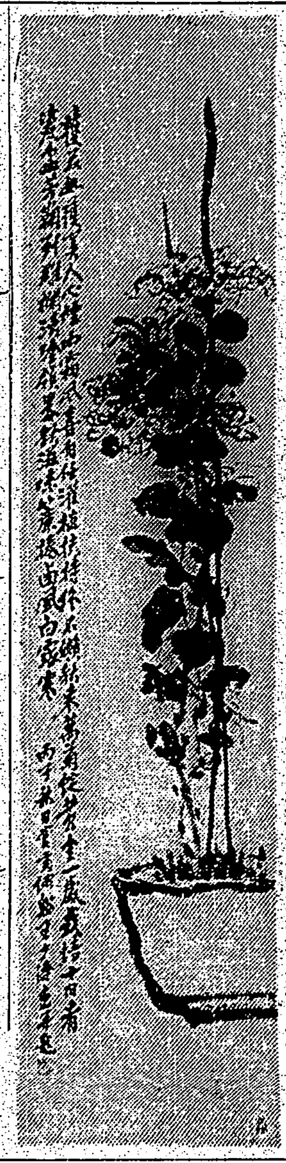
臺北華僑
就職典禮
總領事等臨場

臺北中華會館第十三屆新職員就職典禮。去二十四晚四時半。舉於該會館禮堂。郭總領事。張。王。兩副領事。其他來賓臨席。鳴炮開會。易炳濱氏司儀。全體肅立。唱黨歌。向國黨旗暨孫總理遺像行禮。陳發梨氏恭讀總理遺囑。主席黃成發氏。代新職員宣誓就職。向監誓員及來賓行禮。監誓員陳發梨氏。來賓郭總領事。張副領事。各登壇訓話。勉其和衷一致。爲該會熱誠救濟其他事業。克盡義務。嚴勵非氏答辭。高呼口號。五時過禮成。開懇親宴。閉會後續開第一回執行委員會。今回新職員。主席團三名。已經昨報。而監察委員即林梧村。陳發梨。楊文從。李善住。潘文安。楊心如。陳裕意。林如波。羅訪梅。執行委員即林祥麟氏外十八名云。

飛機乘客
傷害辨償
申請認可中

日本空輸會社。今回新設飛行機乘客之傷害擔保規定。即對航空中事故。負擔乘客被害責任。支給辨償金。現對遞信省。關東廳。臺灣總督府。申請認可中。該規定概要如左。

一、依事故而即死。或爲直接原因。六日內死亡者。支給四千圓。一、兩眼之視力。兩脚喪失之時。支給四千圓。一、一眼視力。兩耳聽力喪失者。支給前項之百分五十。一、拇指。鼻。片耳之聽力喪失者。支給前項之百分三十乃至六十。右以外。要醫療程度者。亦支給以適當之治療費云。



來廿七八兩日間、在臺北市公會堂、所開之王少濤氏文人畫個展（墨菊即其所作）

臺北市會第二日
質問集於都市計畫
午後五時讀會未了而散

臺北市會第二日。去二十四日午後一時二十分開。台北門御成兩町住民中。與勅使街道擴張工事有關者。多往傍聽。首由鈴木氏質問。謂逐年膨脹之敎育費。將來豈無不安。希造成之道路維持費。又州所當負擔之敎育資金。何以由市負擔。由吉田參與答辯。次稻田氏。謂稻荷神社前之代市既廢。神社燈明料減少。希增神社費。言及維持該神社建立趣意書。議長謂質問通告者。達二十餘名。望照通告順發言。且須避其重複。摘要點而言之。大澤氏。謂市區改正施行事宜。希望不踏東門町之覆轍。又以地價半價買收。頗難感服。將來若欲收容土地。望樹一定方針。以期公平。十二年度豫算。簡直言之。非健全豫算。宜避市稅市債偏重主義。講究稅外收入。且須注全力。以確保有力財源。又都市計畫事業。有何計畫。由豐澤。吉川。榊原三參與。詳細答辯。次堀山。貝山兩氏。亦就都市計畫。質問補償問題。唐澤氏謂都市計畫稅。將徵收至何時。該稅店舖既有負擔。而不受補償。其理由安在。又受益者負擔金。賦課率何如。由吉田。榊原兩參與答辯後。石井議長謂都市計畫。實行之際。市對店舖。有十分考慮。釋明市之態度。如是市區計畫所關之質問百出。議論無盡。安田氏乃提出動議。謂將都市計畫所關質問。於茲截止。而附託于特別委員何如。得多數贊成。動議成立。惟西川氏。提出修正意見。希望延於第二讀會時。附託委員。而議長則欲于本會議討論之。安田氏堅持附託說。各不相讓。議長乃宣告休憩。午後四時再開。安田氏復提出動議。於是截止都市計畫之質問。西川氏質問公共住宅開設期。竝希望將增加市[illegible]給畫二百餘點。換價處分增加區數。最後[illegible]氏答之。由古市。吉田兩參與。瀨戶山氏起爲辯明州會議員選舉時之無效投票。爲無效投票。乃制度不備所致。李朝北氏希望於臺北橋及昭和橋間。再架一條。並浚渫淡水河。重明氏希望合併艋舺街庄於市。設置有價證券取引所。赤木參與答以取引所之設置。欲再研究之。古川氏希望誘致工業。由赤木。吉川兩參與答辯。後藤氏希望補充市之職員。竝於第三高女與大正町間。新設道路。石井議長答以將爲考慮之。貝山。楊潤龍兩氏。亦希望開鑿自大正町至第三高女之道路。蔡式穀氏。謂太平町大龍峒間。萬華大稻埕間。建成町第三高女間三道路。須急開鑿。初等教育。望多許共學。小公學校教科書。宜共通。稻江病院。接近本島人街。宜移轉。有入幼稚園之風說。有無事實。木。人車案。方針何如。聞將來亦將不採用。千葉參與答云。幼稚園兒。無何制限。赤堀參與答云。木。人車案。將來亦欲採用。時已過定刻。爲時午後五時十分。第一讀會未了而散。

新竹市會初日午後
娛樂館民營移管論

新竹市會第一日二十四日午後一時再開。直入十二年度歲出入豫算第一讀會。石井員夫氏謂市吏員之對營利會社。或市民個人之建築設計引受等。須爲遠慮。長島參與答以市內缺有權威者。其受委囑。若認爲市勢發展上之必要。得上司允准。于公務無阻碍引受之。今後當十分注意。陳添登氏就市財源捻出方策之有無。其他道路鋪裝。街路燈。教育關係。陳其祚氏就市財政將來之豫想。授業料加昇。國語講習所增設。對貧困者水道普及等。各發質問。由參與答辯。斯時赤堀知事臨場。小出正美氏希望市區改正之促進及徹底。邱居財氏謂公設質舖利息月一分五厘。或低金利時代之今日上。理應降下。由長島參與答之。松尾貞壽氏就娛樂館使用料。傳染病豫防費之增額。發質問及述希望。陳添登氏謂娛樂館移爲民營如何。提出與昨年市會所述同意見。長島參與答之。何乾欽氏就保健衞生費之充實。胡春灶氏就補頂第三公學校之充實。及市區擴張。各述意見。菅野秀雄氏問教育費之將來想像。又新竹市將來工場地帶設置問題發生之際。就市當局與地主折衝。以廉價入手之方策。鄭大明氏就新竹市將來之財政。果得安心與否。求議長答辯。又新竹市。有無爲工業都市之意。當局有何準備。工業傳習所。有無設置之意思。民風作興。生活改善。篤々如今日。對家庭教育根幹之女子施設。提倡組織女子青年團。又于紀元二千六百年。適當新竹市制十周年。市當與國家的慶事同軌。對此市有何準備。堂々述意見。滿場傾聽。池田議長乃舉數字。說明市財政。于十二年度最困窮。起債能力漸次緩和。紀元二千六百年記念施設。經有愼重考究。朝枝參與就工業都市。說明準備之各種計劃。長島參與就工業傳習所施設。女子青年團組織。答以務期從速實現。時由菅野氏之動議。第一讀會終了。于午後五時十五分。第一日議事告畢。

高雄州青果
組合總會

高雄州青果同業組合第二十二回組合會。因去一月二十九日暴風雨被害。豫算不得不再編成。二十四日午前十一時四十五分。開於青年會館。總督府大江屬。州高橋屬臨席。組長高原內務部長。淺野常任副組長以下役員。並代議員六十四名中。五十七名出席。定刻開會辭。高原組長就議長席。說明豫算編成大綱。付入議事。十一年度組合經費更正豫算案。無異議可決。正午休憩後。午後一時續開。十二年度經費豫算及同年度特別會計羅災救助豫算案。並暴風羅災者救助案一括上程。質問續出。少被害之旗山方面代議員。以豫算案四萬六千百三十四圓之羅災救助負擔金二萬圓。使一般組合員負擔爲不當。宜從組合一般經費支出。強硬要求。議場緊張。結局原案可決。次十二年度組合費徵收方法及同年度出荷統制之事。亦無異議承認。四時過散會。豫算總額。一般會計百十五萬千三百二十圓。特別會計羅災救助金四萬六千百六十四圓。計百十九萬七千四百八十四圓。出荷統制案。亦與前年度同樣。惟不得已時乃適用云。

八市議建議
勅使街道
連結磺溪路

勅使街道擴張工事。連日爲臺北市會議題。且有欲將該工事。延長至與新店磺溪道路連絡。而實施于歲町。古亭町。水道町。富田町。乃至郡境之道路擴張工事。經山堀川。周村崎。陳振能。菱村。瀨戶山。重田八市議員連署。提出建議案於市會云。

八堵炭礦臺車顚覆
一名即死重傷六名

基隆郡七堵庄八堵。中臺商事會社所有八堵炭礦。去二十四日下午三時。有炭車六臺連結。自坑內捲起中途。機械故障。炭車猛烈下落。致在車上之採炭夫即死一名。重傷六名。就中生命危篤二名。下午五時許。舁入基隆市義重町。久恒小合堂醫院。應急治療。郡當局接急報。下午五時。有出水刑事係主任。赴現場調查中。詳細不明。其他似有多數之輕傷者云。

永樂市場
公商會總會
納稅每蒙表彰

臺北永樂町市場公商會。爲市場內商人數百名所設團體。附設有納稅組合。舉吳水源氏爲組合長。努力於納稅。年中無一滯納者。克盡國民三大義務之一。稱一般商人模範。每年皆由臺北市尹。授與獎勵金三百圓。來二十七日午後二時。欲在蓬萊閣。開第四回總會。報告十一年度收支決算。收入金三千百十三圓餘。支出二千六百五十四圓餘。殘額四百五十八圓餘。用於次年度。以五十圓獻金國防云。

獅頭山聯吟大會
聲明出席者意外好況
至截收日三百五十七名

既報獅頭山聯吟大會。由後援南洲吟社員。極力鼓舞。至截收期聲明出席者意外好況。臺北市三十二名。基隆市十五名。宜蘭郡十六名。蘇澳郡五名。基隆郡四名。文山郡一名。新竹市四十九名。苗栗郡五十名。中壢郡三十四名。大溪郡二十九名。新竹郡二十名。臺中市八名。彰化市十名。員林郡四名。豐原郡三名。大甲郡十六名。彰化郡八名。鹿港街四名。南投郡五名。臺南市八名。嘉義市五名。北門郡六名。北斗郡四名。新化郡五名。斗六郡三名。曾文郡五名。高雄市一人。屏東市一人。潮州郡四名。花蓮港廳一名。附記。開會時間。因便上變更同日午前十時舉式。十一時宴會。午後一時。開始擊鉢吟。九時舉賞與品贈呈式云。

鰈魚人工孵化
事業移管

臺灣水產會。曩者研究水產業根本的大問題。欲使之實現。先致意於鰈魚人工孵化事業。蓋新店溪公館。每年鰈魚人工孵化事業。但此事不須臺灣水產會自爲經營。宜移管於管下小團體。臺灣水產會。此事業如放手。將使何人承之。鰈魚之保護取締。今後將致重於何點。來月八日。欲在新公園協和會館。邀關係者參集。協議一切。其參集者即臺北新竹兩州水產會。文山郡漁業組合。臺北市。淡水郡。海山郡各關係者。及民間有志團體之香魚會員云。

摭談
南海生

南海生。負氣節。篤交遊。而以直談人過不爲矯飾所厭。成爲聞人。南北致千里。遊我黎。[illegible]。無所遇。長身後客從北來。師營中。一夕步月出嶺。見武士五六人。相與論刀棍。生竊聽久之曰。生未稱也。武士怒顧。見其文弱。皆笑曰。生亦角技。秀才當亦諳刀棍耶。生曰。可。因以北爲戲可乎。一人起執長矛曰。執一棒。武士曰。愼之。有傷勿悔。生曰。姑試何如。手既交。武士遽以擊刺。生則向所攻而依傍之。手甚閑適。所而乘隙進步一擊中其股。攻者遂仆地。生謂衆曰。來々。衆各執刀仗環攻。生左右進退。不越咫尺之地。而衆技之所及。五六人無不失其械者。衆乃駭服求教。生曰。今之所習刀棍之手。不以力勝乎。凡械長丈二。手握丈中。前後各五六尺。手動寸。則兩端所展可及尺。尺則可及丈。臨敵而常側身。其所備者。縱有七尺。處只七寸耳。蓋前手之左右上下。在六七寸。故刀棍而堅固。以擊則破。昧者使用猛力。力竭則心怯神搖。所以敗也。衆服其論。生喟然曰。雖然。此一人敵也。所當有萬人敵。諸君既未可與言。甚至[illegible]。亦難言解也。衆何[illegible]。余於此究。說其不復出云。

米況（廿五日）

正米市況前場

大阪期米前場

東京期米前場

神戶期米前場

株式

大阪短期前場

東京短期取組

東京長期前場

東京短期前場

大阪長期前場

[illegible]

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人　佐々木
發行所　臺北市榮町四丁目　臺灣日日新報社

臺灣日日新報社編輯局編纂
改正臺北市全圖
發行所　臺灣日日新報社商事課

中央公論

結城財政の進む道　笠信太郎

世界景氣好轉の魔術・阿部勇
日本外交の一指標・大澤章
列國對支投資の新動向・樋口弘
思想表現の爲の國語・佐藤信衛
ソ聯の準戰體制と反スターリン運動・中山貞雄
泰西畫家訪問記・武者小路實篤
隨筆を書く心・安倍能成
雜魚圖譜・中谷宇吉郎
腦室反射鏡・式場隆三郎
詩・菊岡久利　短歌・釋迢空・前田夕暮　發句・村上鬼城・内藤吐天
多島海の春（カメラの旅）嵯峨善兵

悼岩梧桐先生・瀧井孝作
漫畫　刑務所風景・須山計一
科學の驚異「腦波」・寮佐吉
舞臺裝置の思ひ出・伊藤熹朔
軍部とスポーツ・鷲田成男

小説　[illegible]（百枚）平林たい子
のらもの・徳田秋聲
小説　希望會館（百枚）加賀耿二

今議會解散すべからず・尾崎行雄
林内閣出現の意義・山川均
政局はどうなる・馬場恒吾

林内閣人物月旦
林銑十郎……岩淵辰雄
結城豐太郎……阿部賢一
米内光政……水野廣徳
杉山元……三島康夫
山崎・河原田・伍堂・塩野・兒玉……阿部眞之助

政變裏街道十日の記・山浦貫一
危機政變覺書・石濱知行
時流に泛ぶ人々・花見達二
新黨運動双曲線・野村重太郎
池田成彬論・太田正孝
動揺財界の立役者・野田豐
政局隨感

藝術と日本主義・甘粕石介
プロレタリア文學の再建・青野季吉
春色寫生書稿　津田青楓・小穴隆一・矢野橋村

…の心境　鶴見祐輔
…感錄　宇垣一成
我國憲政の二大潮流・渡邊幾治郎
…の話・出隆
日本女優論・村山知義
類似インテリの運命・大宅壯一
青年に寄す・シュプランガー
幕末の水戸・山川菊榮
軍部と政黨・田中惣五郎
忍術放談・藤田西湖
世相　赤信號
口繪……鏑木清方
街の人物評論
（卷頭言）文化勲章と時局

日本軍備の發展　中野登美雄

特輯　軍部論
伊藤正德
武藤貞一
風見章

軍部とはそもそも何ぞや。その機構は如何。今日軍部は如何に動きつゝあるか。非常時の波に乗って二…

附錄　現代世界人名辭典

改造文庫

東京市芝區新橋七　振替東京八四〇二七番
改造社發行

國富論（上卷）アダム・スミス著 8
國富論（中・下卷）アダム・スミス著 各6
社會主義の發展　エンゲルス著 1
マルキシズム認識論　ディーツゲン著 1
辯證法的唯物觀　ディーツゲン著 2
哲學の實果　ディーツゲン著 1
神と國家　バクーニン著 1
婦人論　ベーベル著 6
古代社會（上・下卷）モルガン著 各5
エミール（上・下卷）ルソー著 各4
國家論　オッペンハイマー著 2
金融資本論 4
日本開化小史　田口卯吉著 2
日本經濟論　田口卯吉著 1
日本經濟學説・經濟的帝國論 2
日本商業史　横井時冬著 4
日本工業史　横井時冬著 4
經濟學の實際知識 2
リッケルト論文集　リッケルト著 2
女工哀史　細井和喜藏著 4
社會進化と婦人の地位 2
農村問題　レーニン著 3
勞働組合論　レーニン著 3
幸徳秋水集 2
中江兆民集 2
財産起源論 1
組織論　レーニン著 3
三民主義（正・續）孫中山著 4 3
唯一者とその所有　マックス・スティルネル著 6
世事見聞錄 4
金融資本論　ヒルファディング著 7
近世封建社會の研究　本庄榮治郎著 2
近世の農村問題　本庄榮治郎著 3
マルクスの國家理論・マルクスの歴史、社會、國家理論（上・下卷）6 7
マルキシズム國家論 5
マルクス主義經濟學　河上肇著 3
哲學概説 3
現代哲學思潮 5
宗教及び信仰の起源 3
カントの平和論　朝永三十郎著 2
近代資本主義（上）4
近代資本主義發達史論（下）5
カウツキーへの手紙 4
レーニン　唯物辯證法の 2
天才論　ロンブローゾ著 5
佛蘭西革命史（上）クロポトキン著 5
佛蘭西革命史（下）クロポトキン著 5
無政府主義と社會主義 2
財産進化論 2
帝國主義論　レーニン著 3
帝國主義論 5
勞働價値説の擁護 2
經濟地理概論 3
帝國主義發達史論 3
プレブス經濟學 3
心理學概論 3
社會意識學概論　ボグダーノフ著 4
經濟科學概論　ボグダーノフ著 5

英國勞働運動史 3
我等の對立　プレハーノフ著 2
マルキシズム方法論 4
倫理と唯物史觀 2
社會進化と生物進化 2
原始財産 6
唯物論と經驗批判論（上）レーニン著 4
唯物論と經驗批判論（下）レーニン著 4
ドイツ古典哲學 3
哲學の進歩 2
社會主義への道 3
社會ファシズム論 2
阿片喫煙者の告白 2
建築と繪畫　ラスキン著 5
藝術とは何ぞや　トルストイ著 3
プロレタリア文學論 3
近代の戀愛觀　厨川白村著 3
象牙の塔を出て・苦悶の象徴　厨川白村著 4
十字街頭を往く　厨川白村著 3
近代文學十講　厨川白村著 5
英詩選釋　厨川白村著 4
第一インタナショナル史 6
第二インタナショナル史 4
經濟學史の基礎概念 5
ソヴィエト・ロシアの農業政策 5
レーニン主義の基礎　スターリン著 3
エルフルト綱領解説 3
マルクス經濟學大綱 2
キリスト教の本質 5
唯物論史入門 5
日本美術の知識（上）5
日本美術の知識（下）6
東西美術の知識 6
東洋美術の知識（上）6
東洋美術の知識（下）5
民族移動史 2
婚姻と離婚 3
何をなすべきか 4
人生論　トルストイ著 4
新古今和歌集 5
平家物語（上）4
平家物語（下）5
雨月物語 2
好色五人女 3
好色一代男 3
伊勢物語 2
神皇正統記 3
奥の細道・芭蕉文集 3
曾根崎心中・心中天網島・女殺油地獄 3
大鏡 5
徒然草 3
北村透谷選集 1
樋口一葉選集 1
子規歌話 3
子規俳話 3
坊つちやん 2
草枕 2
それから 3
三四郎・我輩は猫である 2

我等の一團と彼・我は天才である　石川啄木著 1
山陰土産その他　島崎藤村著 2
民謡集　北原白秋著 2
獄中記　オスカー・ワイルド著 2
厭世家の誕生日　佐藤春夫著 1
日輪　横光利一著 1
勞働者の居ない船　葉山嘉樹著 1
海に生くる人々　葉山嘉樹著 2
小公子　バーネット著　若松賤子譯 2
ホワイト・ファング　ジャック・ロンドン著　堺利彦譯 3
はやり唄　小杉天外著 3
朝の螢　齋藤茂吉著 2
十年　島木赤彦著 2
川のほとり　古泉千樫著 2
松の芽　中村憲吉著 2
海やまのあひだ　釋迢空著 4
立春　木下利玄著 2
花樫　北原白秋著 3
人間往來　與謝野晶子著 2
槻の木　窪田空穂著 2
野原の郭公　若山牧水著 2
原生林　前田夕暮著 3
空を仰ぐ　土岐善麿著 2
童謡集　北原白秋著 2
國民歌謡集　北原白秋著 2
舞踊詩集　北原白秋著 2
背德者　アンドレ・ジイド著 2
チェホフ書簡集 5
鶯の卵　土岐善麿著 3
信綱文集　佐佐木信綱著 2
芭蕉遺語集 3
一茶七番日記（上）（下）各4
蟻の生活　メーテルリンク作 3
愛すればこそ　谷崎潤一郎著 3
愛なき人々　谷崎潤一郎著 3
痴人の愛　谷崎潤一郎著 4
海へ　島崎藤村著 5
屋上の土 5
寡婦マルタ 3
句集虚子 6
井泉水句集 5
サニン　アルツィバーセフ著 6
一青年の告白 3
一週間 2
室生犀星詩集 5
千家元麿詩集 3
横瀬夜雨詩集 5
修禪寺物語 3
少年の悲哀 2
運命論者 2
愛慾 2
作者別萬葉全集 6
作者別萬葉以後 6
自然 3
日本 5
佛蘭西童話集（第一）3
佛蘭西童話集（第二）5
佛蘭西童話集（第三）3
死の如く强し 5

巴里の憂鬱　ボードレール著 2
死の舞踏　ストリンドベリイ著 2
奈落の人々　ジャック・ロンドン著 3
學園 2
無名作家の日記（他十四篇）（現代物１）菊池寛著 4
出世（他廿篇）（現代物２）菊池寛著 4
恩讐の彼方に（他廿篇）（時代物）菊池寛著 5
嘘の發生（他廿篇）菊池寛著 4
父歸る（他廿篇）（戯曲）菊池寛著 5
藤十郎の戀（他十四篇）（時代物）菊池寛著 5
眞珠夫人　菊池寛著 5
慈悲心鳥　菊池寛著 4
新珠　菊池寛著 5
火華　菊池寛著 4
受難華　菊池寛著 5
赤い白鳥　菊池寛著 3
明眸　菊池寛著 5
新女性鑑　菊池寛著 3
陸の人魚　菊池寛著 4
第二の接吻　菊池寛著 3
東京行進曲　菊池寛著 3
結婚二重奏　菊池寛著 3
不壊の白珠　菊池寛著 3
父と娘（他四篇）武者小路實篤著 4
わしも知らない（他三篇）武者小路實篤著 4
人生雜感　武者小路實篤著 4
イプセン全集（第一卷）3
イプセン全集（第二卷）5
イプセン全集（第三卷）5
イプセン全集（第五卷）5
ボルシェヴィキの手記 4
聖書物語（舊新）ヴァン・ルーン著 各3
洋服箪笥 2
今戸心中 3
嬰兒殺し　山本有三著 3
芭蕉・夜船・草の詩　吉田絃二郎著 3
ドレフュース事件　大佛次郎著 3
新人國記 4
シラー詩集 4
どっこいおいらは生きてゐる 2
窓から 5
人波 3
結婚の悲劇　アルツィバーセフ著 5
苦闘の路（上・下）ア・トルストイ著 各4
草雙紙選 5
焚火　志賀直哉著 2
矢島柳堂　志賀直哉著 2
老人　志賀直哉著 2
網走まで　志賀直哉著 2
好人物の夫婦　志賀直哉著 2
雪の日　志賀直哉著 2
暗夜行路（前篇）志賀直哉著 3
短歌集　石川啄木著 4
詩集　石川啄木著 5
小説集（上）石川啄木著 6
小説集（下）石川啄木著 5
評論感想集（上）石川啄木著 4
評論感想集（下）石川啄木著 4
書簡集（上）石川啄木著 3
書簡集（下）石川啄木著 4
國歌八論 3
三人 4
新選秀歌百首 3

性に眼覺める頃　室生犀星著 4
多情佛心（前・後篇）里見弴著 各3
苦の世界　宇野浩二著 3
山恋　宇野浩二著 4
天保悪黨傳 5
血染のパイプ　甲賀三郎著 5
平妖傳（上）佐藤春夫譯 4
平妖傳（下）佐藤春夫譯 4
田園の憂鬱　佐藤春夫著 3
自選短篇集 4
新るな記 6
大暴風時代　白井喬二著 5
淺草紅團　川端康成著 5
女性讃　片岡鐵兵著 5
曉鐘 5
角兵衛物 2
唐人お吉　十一谷義三郎著 4
唐人お吉（續）十一谷義三郎著 5
笑ふ男・笑ふ女　十一谷義三郎著 5
或る女（上）有島武郎著 4
或る女（下）有島武郎著 3
星座・生れ出る悩み　有島武郎著 4
有島武郎戯曲集 4
有島武郎書簡集 5
有島武郎日記 4
社會詩集　生田春月著 5
戀愛詩集　生田春月著 5
放浪記・續放浪記　林芙美子著 5
彌太郎 4
納涼 4
神經病時代 3
女 5
闇の力・生ける屍　トルストイ著 4
蟹工船・工場細胞　小林多喜二著 4
不在地主・オルグ　小林多喜二著 4
盲目・クララの出家　有島武郎著 3
迷路　有島武郎著 3
カインの末裔・溺死・かんかん蟲　有島武郎著 2
愛する 2
俳諧七部集 2
其角七部集 4
牧水歌集（上・下）各4
牧水紀行文集 4
明治大正詩史概觀 4
ロシア短篇集 3
貝殻追放　水上瀧太郎著 67
我等の心 4
好色一代男 5
人類文化史物語　ヴァン・ルーン著 5
チェーホフ傑作集 4
葛西善藏小説集 4
葛西善藏感想集 5
樋口一葉全集 5
青年（上・下）4
宗教科學闘爭史 6
中世騎士 4
野性の呼聲　ジャック・ロンドン著 3
この人を見よ　ニーチェ著 4
伊太利物語 5
惜みなく愛は奪ふ　有島武郎著 2
牧水歌集 4
青春 5

さけのどくけし
悪酔・宿酔の酒害を除く
ミツワ製藥
二〇錢　六〇錢

吉野丸　三月一日午後四時半發
朝日丸　三月五日後四時半發
大和丸　三月十日後四時半發
上海行
大連行
元明丸　二月二十八日午前十時
丸一組

臺灣の工業化と助成機關

官民の關心を向上せしめよ

一

從來農業を基本産業となして來た台灣は今や工業の漸進的發展により工業の台灣に轉換せんとする趨勢を示しつゝある、いま之を統計に現はれた數字について見るに昭和十年に於ける農業生産は三億六千万円、工業生産は二億六千九百万円（各種産業の總生産額は六億八千万円）で過去に於ける農業の獨り舞台は今や片棒を工業に讓らざるを得ない狀態となつた、斯くいへば如何にも台灣の工業は放つて置いても獨りでに漸進の一途を辿る如くに聞えるけれども、その實長足の發展をなし得べき原料資源を包藏しながら可及的なる發展をなし得ずにゐる實情である、それは如何なることに主たる原因が存するか。

二

先づ第一に感ぜられることは獎勵助成の機關が小規模、不整備であるといふ点だ、工業助長に關する台灣の中樞機關は殖産局の商工課であり、嚴密にいへば同課の工業係であるが、斯の如き單なる事務的な係でもつて全台灣の工業發展を牛耳るには餘りに貧弱に失する、それにしても同係の持つ豫算が尨大であれば或は本來の使命達成を容易ならしめ得るであらうが、來年度豫算に盛られてゐる二、三の特殊工業助成費を見ても僅々四万円やそこらでは餘りに規模が小さ過ぎる、次に中研工業部あたりも側面から台灣の工業進展に寄與すべき使命を持つてゐる重要な研究機關であるが之又研究費が僅に數万円で、過般來台した內地の某化学工業會社の或幹部が之を聞き自社の三十五、六万円といふ研究費に比し餘りに過少であり之では何も出來まいと驚いたのも無理からぬところである。

三

そこで工業の監督助成に當る殖産局にしても、又實驗研究に携はる中研にしても組織や規模をもつと大きくすることが先づ第一に必要な施策である、次は單なる行政上の機關としてでなく、直ちに實行に移し得べき諸種の工業について民間事業家と共に研究を進める如き機關、いはば街頭に進出せる獎勵助長機關を設置することが必要であらう、之は既往の實驗研究の結果いま一息で工業化し得るといふ様な有望な事項を捉へ來つて相當大規模に中間工業試驗を實施する機關であり、之に當る技術者は台灣における各方面のエキスパートを網羅すればよい、但し思ひ切つた試驗研究を實施するには少からぬ經費を要するので、此の点民間企業家との提携を保ち、例へば或事項に關する研究について所要の經費を民間から支出し、研究が成就すればその起業の權利をそつくり買ひ受けるといふ様な制度は如何なものであらうか。

四

內地に於ては帝大の研究室にポンと五十万円もの大金を投げ出して或る事柄に關する徹底的研究を依賴するといつた様な類ひは往々見受けられるが、台灣に於ける一般の現實或は關心は未だ此の程度にまでは進んでゐないのを遺憾とする、だから台灣では科學者或は彼等の研究といふことに對する社會の關心をもつと向上せしめることから始めねばならぬ次第である、社會一般の關心が薄いといふのは財團法人發明協會の現狀を見ても知られるであらう、發明、發見は諸產業勃興の根本となる事柄であるにも拘らず、右の協會に關心を持つ者尠く從つて同協會は財源難のため何等の積極的事業をもなし得ず、甚だしきはその存在さへ知らぬ者が多いといふ有様ではないか。

五

さて前述の工業生產價額二億六千九百万円は之を內譯にして見るとき甚だしく一方に偏してゐることを知るであらう、即ちこのうち食料品工業が二億二百万円であり、またその內の一億五千万円といふものは砂糖の製造工業で占めてゐる、して見れば諸他の工業生產は至極貧弱であり、從つて化学工業方面などには殊に力瘤を入れて工業台灣に多様性を賦與せねばならぬ、例へば曹達工業、肥料工業、香料工業、藥品工業等は容易に考へ得られ、更に皮革工業その他各種の製作工業等も發達の見込み充分なるものがある、之を要するに總督府に於ても台灣の工業化に對する根本的大方針を大膽率直に且つ速かに樹立し、その工業政策に則つて工業台灣の進展に拍車をかけ指針を與ふべきである。

地方交付金增額 政府遂に折れる

衆院各派と懇談會を開く

【東京二十五日發】地方財政調整交付金の增額要求運動は最近に至り貴族院內にも擡頭して來た爲め衆議院各派の空氣も著しく硬化するに至つたので政府も遂に同問題に關して妥協的態度を示すに至り結城藏相は二十五日午前の衆議院豫算總會で

政府は原案を固執して一步も讓らぬ考へではない、議會とよく協議したい

と重大言明を為した、右の結果政府は近く政民兩黨政務部とも打合せの上交付金問題で衆議院各派と懇談會を開くと見られるが政府が議會に對し妥協的態度を示すに至つた以上、懇談會席上或る程度の增額に應ずるの已むなきに至る事は必至と見られる

懇談の結果に依り修正に應ずる

財源は公債で 結城藏相談

【東京二十五日發】結城藏相は二十五日午後院內大臣室で地方交付金增額問題につき左の如く語つた

今日の豫算總會で自分が勝君の質問に對し交付金增額に就いて考慮してもよいと言つたのは主として來議會提出の恒久調整案を目標としたものである、然し議員諸氏がこの答弁を今回提出の七千万円の交付金增額に今議會で直ちに應諾するものと解釈し懇談會を開くといふなら賀屋次官なり自分なりが出席してよく計數整理的根拠の喰違ひも語し合ひその結果增額の事情が眞に已むを得ざるものと確認されたら熟慮し修正するに吝かでない、增額するとすればこの財源は公債增發で賄ふ以外に仕方あるまい（寫眞は結城藏相）

公債百億・心配なし

岡本氏の質問に藏相答ふ

【東京二十五日發】衆議院豫算總會つゞき——勝氏の交付金に關する質問に關聯して

牧野良三氏（政友）藏相は七千万円の金額を過去に政民兩黨が主張した金額六千五百万円に照らして酷くはないと云はれるがそれは今回は異なる問題である今日は豫算も增大し增税も為されたのであるから過去の計數に拘はる譯には行かぬ、吾々としては吾々の數字と材料と意見とを提示して然るべき言明を得たいと考へる

藏相 私は諸君と共に政治をしたい考へであつて原案を固執して一步も讓らぬとの考へは持たぬ相談づくで政治をやつて行きたい

牧野氏 吾々としては數字の根拠を持つてゐるのだから政府が吾々と懇談しようと云ふならば增額しなければならなくなるであらうと思ふが何れ吾々としては政府と豫算委員との懇談會開催の機會を持ちたいと思ふ

交付金計算の基礎について

永山忠則氏（昭和）前內閣は地方稅において差引き一億二千數百万円の減額となり今回の案は三千七百万円の增加となつてゐる政府は斯の如き不公平な案を撤回しては如何

石渡主稅局長 撤回する考へはない

岡本實太郎氏（民政）藏相は財政政策について中庸の途を行くと云はれたがこれは結局公債募集中心にやつて行くのではないか

藏相 歲出歲入双方について我國の現狀を見るに結局公債に多く依存して行かねばならぬ狀態であると思ふがこれが為めには出來るだけ自然に金融機關に持たせて行くやうにしなければならぬ、又場合に依つて國防其他の緊急已むを得ぬ必要により一時日銀に公債を背負はせねばならぬ場合があるかも知れぬが、その際には政府としても惡性インフレの起らぬやうな方策を講ずる必要がある

岡本氏 政府の發表に依ると公債總額百億円、國民所得百十二億円で借金と國民の所得は略對合つてゐる、而も公債の割合について見ると生產公債一割三分に對し軍事公債は二割六分を占めてゐる、藏相は一體公債についてどれ位なら心配はないと思ふか

藏相 公債百億は日本の現狀において必らずしも過大とは云へぬ、公債の割合についてはそれぞれの區分け立つがそれに捉はれて議論するは難しい

岡本氏次で減債基金問題について質せば藏相「目下のところ減債基金制度を設ける事は考へてゐない」と答へ岡本氏更に今後の豫算方針を質した後

岡本氏 來年度も一億五千万円乃至二億円の剰餘金が生ずると思ふが特に軍事費と軍需工業の關係から見てこの惡弊が感ぜられる、陸相は軍需工業消化能力についてどう考へるか

杉山陸相 豫算編成に當つて官業及び民業の軍需工業について十分調べた結果豫算を消化し得る能力には心配ないと認めた

藏相 消化能力に心配はないと思ふ、何豫算を年度內に使用しなければならぬといふ事はない出來るなら必要の範圍に止めるやうにしたい

と答へ午後零時二十四分休憩

衆議院豫算總會

修正豫算案はけふ提出せん

結城藏相が言明

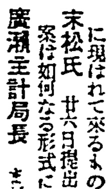
【東京二十五日發】衆議院豫算總會は午後二時八分再開、先づ小山委員長より豫算總會一日延長の諒解を求め更に

總會開催中に修正豫算案を提出する見込ありや

と政府に質せば

結城藏相 修正豫算案は閣議に附議した上二十六日提出したい

と答へ次で



末松偕一郎氏（民政）政黨を無視しては円滿なる立憲政治の運用が期せられないと思ふが如何、又省の統合を斷行する意思ありや、國策統合機關を追加豫算に依つて實施する考へありや

林首相 立憲政治運用に關する意見には同感である、省の統合に就ては未だ考へが具體化してゐない、又國策統合機關の必要を認めるが前內閣案が最善のものか否かは猶研究を要する、從つて追加豫算に計上するかどうかは未定である

末松氏 豫算の修正權について政府も議會も同等に有してゐる、又修正豫算案の內軍部豫算の修正部分は項目別に詳細說明するか

結城藏相 豫算修正については議會とともに充分話合つて行きたい、軍部豫算は其まゝ豫算面に現はれて來るものと思ふ

末松氏 廿六日提出すべき修正案は如何なる形式に依るものか

廣瀨主計局長 未だ閣議決定前だからお答へ出來ぬ

末松氏 農村における經濟國策と社會公共團體の亂立整理の考へなきや

內相 整理研究したい

末松氏 官吏の身分[illegible]は地方民にとつて全く[illegible]ある

首相 全然同感で充分考慮したい

末松氏 地方交付金の配分について內相の所見如何

內相 約五、六千万円は戸數割の[illegible]

長年勤續議員を貴族院で表彰

三月十日頃に擧式

【東京二十五日發】[illegible]の長年勤續議員の表彰に[illegible]の小委員會で決定を[illegible]十年以上、出席三十回以上を資格に表彰すべき有資格議員を人選した結果[illegible]田義文、千秋季隆、[illegible]松平直亮[illegible]

國策研究機關案今議會へ提出か

兩院で協議 政府に交涉せん

【東京二十五日發】[illegible]議長より[illegible]委員會を召集し[illegible]具體化する方[illegible]

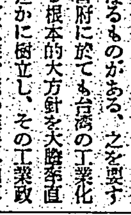
[illegible]

近衛議長が各派に提議

【東京二十五日發】[illegible]國策研究機關問題につき[illegible]

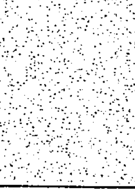
軍民一致に關聯 陸相が逆襲

[illegible]輕減に一、二千万円は惡税と言はれる雜種稅の輕減に當てるつもりである



松田竹千代氏（民政）現內閣の外交方針如何

林兼攝外相 經濟外交一本槍でなく文化的平和外交に進むべきと信じこれに努力してゐる



高橋熊次郎氏（政友）農村更生の必要を說き農村對策に關する政府の所信を問ふ

藏相 國防上からも農村更生は誠に必要であり物質的、精神的兩方面からこれに努力すべきものだと考へる

高橋氏更に更生方法につき質せば

藏相 從來の如く米穀のみに偏らず農業と工業との調和を圖ることに力を注ぎ、又肥料を用ふることも必要だと思ふ、また輸出入關係の農產物を獎勵することにも盡力したい

高橋氏轉じて東北振興對策に言及し東北興業の[illegible]意思なきやを問へば首相目下研究中なる旨答へ午後六時休憩

午後七時十四分再開休憩前都合に依り質問を中止した松田竹千代氏再び起つて軍民一致に關し極々意見を述べ

松田氏 軍民一致を期するためには今少し軍も國民も胸襟を開かねばならぬと思ふ軍もよく考へられて廣い氣持をもつて貰ひたい

杉山陸相 軍民一致の精神には全く同感であるが、同時に軍部外の人もよく自己を顧みて貰ひたい

と逆襲し松田氏更に二・二六事件につき質問しこれが答弁のため杉山陸相秘密會を要求し午後七時三十二分秘密會に入る同五十分秘密會を解き

松田氏 現內閣の地方交付金案に對し陸軍は極めて冷淡であるかの如く見ゆるが所信如何

陸相 國家財政の立場から已むを得ないと思ふ、今後恒久的施設の實現に努力したい

松田氏 十四億円の國防費の按配には矛盾はないか、航空其他の科學兵器に振向けた經費が餘りに失することはないか

陸相 資材の整備は不充分であるが財政的餘裕からこの程度で忍ぶより仕方がない我が陸軍は綜合的充實を圖らねばならぬと思ふ

梅津次官 兵器研究費は十二年度において經常臨時を合せて約八百万円である

松田氏 燃料國策の中心目標となるものは何か

伍堂商相 國防產業の兩方面から計畫してゐる目下の人造石油生產計畫は七ケ年後僅かに百万噸の生產を目標としてゐる、尙帝國燃料の豫算は削除したがこれは他の方法でその資並に調整した上今議會に提出する旨目下商工、大藏兩省間で協議を進めてゐる

松田氏 台灣に於ける月刊新聞、週刊雜誌の漢字欄廢止を要望されてゐると言ふが如何なる意圖に依るものか

結城藏相兼拓相 充分取調べて答へる

と述べこれで松田氏の質問を打切り代つて

原口初太郎氏（政友）結核豫防十ケ年計畫は實行するか

內相 必ず實行する財政の許す限りはそれ以上の計畫をも遂行したい

原口氏 陸軍に相當結核患者が多いやうであるが、その實狀と豫防對策如何

陸相 最近六ケ年間の調査に依れば一年約三千九百名の患者があり內二千名が除役となる情態で特に滿洲における部隊に多く一年平均の患者は千三百名內除役者は一千名、全體を通じて約三千名の除役者を出してゐる事は遺憾である、豫防の方法としては療養所の增設、豫防の施設を圖り結核豫防委員會を組織して攻究する筈である

由谷義治氏（東方）林內閣の國防充實に關する認識如何

首相 當面の問題としては國防の充實を先づ考へてゐる

陸相も首相と同意見なるを述べ

由谷氏 國防費の見透し如何

藏相 今日の情勢よりすれば減少は困難である

由谷氏 林內閣が今日關係を補充するとせば政黨から聯衡する意思ありや

首相 聯衡出來ない事もない

由谷氏 政黨が全面的に地方交付金の增額を要望し明年度豫算を議會が否決する場合は解散と總辭職との何れを選ぶか

首相 何れか一を選ぶ事になる

と答へれば滿場失笑斯くて午後十時三十二分散會

郵便料値上げで遞相に質問の矢

衆議院本會議（廿五日）

【東京二十五日發】衆議院本會議は午後一時七分開會、總裁問題が解決に近づいたのと交付金問題が重大化する形勢に前日まで沈滯の極にあつた政友會席にも幾分の生色が見られるのは正直なものである

一、郵便法中改正法律案（政府提出）

を上程第一讀會に入り兒玉遞相の提案理由の說明あり質疑に入り

眞鍋儀十氏（民政）郵便料の值上げは實質的增稅である、既に煙草の值上げに依つて國民に[illegible]たる反對を惹起してゐる折柄重ねて郵便料值上げを提案したる理由如何、從業員の待遇改善費は六百九十万円で郵便ハガキ一錢五厘を二錢に引上げ得る增收八百万円で足りる、剩餘の剩餘金は部內の施設完備を圖るべきではないか

と通信事業の不便不適正を指摘し「改善の意思なきや」と問ふ

兒玉遞相 郵便料金引上げによる增收額千五百万円は先づ從業員の待遇改善に充てたいと思ふ

と遞信從業員の窮狀を述べ事情止むを得ず提案したと陳辯に努める

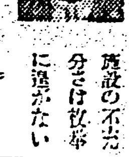
土倉宗明氏（政友）遞相の答弁によると提案理由と喰違ひはせぬか

とて「本增收は通信事業の現況に鑑みその施設改善に充當せんとするものである」と提案理由を讀み上げる、次に[illegible]問題に對する方針が內閣にぐらついてゐる事を指摘し降壇

遞相 增收額は施設改善に當てる

土倉氏 遞相の答弁は不滿足である

と述べ次で



鈴木文治氏（第一）現在の遞信施設の不充分さは枚擧に遑がない

とて一々數字を擧げて明示し「其の施設改善の决心ありや」と質し更に

遞信從業員の待遇は劣惡な標準である、遞信從業員は劣惡を極め一種の奴隷狀態である、彼等[illegible]

遞相 待遇改善費七百万円、サービス改善費一千二、三百万円を豫定してゐる、勞働組合に對しては從來より不干涉主義をとつて回り健全な組合の設立に贊成である

杉山氏 自席より退職積立金制度實施の意思ありや

兒玉遞相 實現するやう考慮したい

代つて

椎尾辨匡氏（第二控室）從業員の待遇問題、簡易事業の改善、農村に於けるラヂオの自由聽取等に就き質し次で

伊豆富人氏（國同）農漁山村二等郵便局增加の意思なきやと兒玉遞相との間に問答を應酬し斯くて質疑を終り九名の委員附託

一、絲價安定施設特別會計法案（政府提出）

を一括上程、山崎農相より提案理由說明あり次で小山邦太郎氏（民政）藤原義政氏（政友）と山崎農相との間に質疑應答あり、代つて福田關次郎氏（民政）より旭シルク會社に關する不正事件に付き山崎農相に詰合れば兩相またこれに應酬し次で山崎猛氏（第一控室）の質問に次で平野力三氏（第一控室）

地方交付金問題に對して山崎農相は熱意を缺く

と述べた後

本案の重点は製絲業者の上に置いたのか、千五百万の蠶絲農民の上に置いたのか

山崎農相 財政調整交付金問題[illegible]

けふの兩院

【東京二十五日發】二十六日の貴衆兩院

◇貴族院 は午前十時本會議を開き日程を變更して軍機保護法中改正法律案外六件の政府提出法案を上程委員附託となし次で質疑に入り岩田武彥氏（公正）の質問がある、尙午前九時五十分から豫算正副委員長の互選をなし同時に各委員會を開く

◇衆議院 は本會議を休み午前十時から豫算總會並に各特別委員會を開く

總裁代行委員制 委員は三名公選

政友總務會で確定

【東京二十五日發】鈴木總裁辭任に伴ふ善後策を決定すべき二十五日の政友總務會は安藤總務會長より黨內の大勢を報告した後、總務會長案として左の善後處置案を提出した

一、總裁代行委員制を設け後任總裁決定までの暫定機關とする事

一、總裁代行委員を三名とし公選で決定すること

一、代行委員の選衡には法定數を定め無記名投票とすること

の方針を確定した、依つて二十六日より引續き各機關を經て右案成就の實現方針を進め本月中に一切の解決を圖るべく努力することになつた

山隈氏の質問延期

貴族院本會議 午後の分

【東京二十五日發】貴族院本會議は午後一時四十七分再開、午前に引續き山隈康氏（研究）登壇、午前中の河原田內相の答弁に不滿の意を述べ質問をなす

河原田內相 農村救濟に交付金制度のみで行くかどうかは何れ地方稅制改革機關を設けて研究するつもりである

山隈氏更に文部當局は將來地方稅改革に伴ひ小學校敎員俸給を國庫支辨にするつもりか、府縣費負擔に依る小學校敎員の內申權剝奪は實情に即せぬと難し文相の所見を求め、更に法相に[illegible]法の缺陷を指摘しこれを更に實效あらしむる方法を講ずるか又は廢止するかと質す

鹽野法相 訴訟件數は非常に尠くなつたが廢止するなど考へてゐない、訴訟法施行上費用を要する点、手續の面倒な点、調停委員の選定等の改善については大いに考慮して行きたい

と答へ山隈氏の質問は文相其他の出席なきためこれを延期し午後二時三十分散會

人事

▲山岸督府金融課長 金融事務打合のため三月一日上京の豫定

▲宮澤高吉氏（勸銀台北支店長）二十七日歸台の豫定

▲高山三平氏（台拓理事）廿一日上京打合の上三ケ月間の豫定で南洋へ出張

▲島田利吉氏（[illegible]）廿五日ダグラスにて內地より歸台

▲大日方余太郎氏（[illegible]）台北中の所二十五日歸社

▲中野友禮氏（日本曹達社長）廿六日朝台北より台南へ、[illegible]田秋義氏同行

▲福三太郎氏（台灣[illegible]）廿六日台南へ

▲大津山國治氏 台[illegible]二十五日夜行にて歸社

▲荻野光氏（內務省技師）[illegible]吉氏（同技師）[illegible]

▲兵庫寿太郎氏（[illegible]）[illegible]

▲[illegible]

工事入札公告
一、材料倉庫一棟新築工事
三月八日午前十一時該事入札執行
詳細ハ二月二十六日府報登載
臺灣總督府內務局

株主總會
二月二十七日ヨリ第二十六回定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換停止致候
昭和十二年二月廿五日
株式會社華南銀行

卒業生諸君ニ告ク
來ル三月一日午前十時ヨリ第二十回卒業式擧行ニ付御參列相成度
臺北州立臺北第一中學校

有給駐在員
內地人中年[illegible]
臺北市本町[illegible]文化敎育會

內科小兒科（入院隨意）
淺井醫院
臺北市末廣町 電話四〇二番

御料理 御注文に應じます
臺北市元園町
鯛ちり 上せん 豚スキ燒
竹巴
電話二二五番
宴會特に勉強

內科 小兒科
本町一丁目三番地
樋詰醫院
（入院隨時）電話五四四七番

銘酒
楓白鹿

春の呉服特賣

松
セル新柄特別賣出し
女物 四・八〇 五・八〇
男物 三・八〇 四・八〇
春の錦紗特別賣出し
新柄 七・五〇
同 着尺 八・五〇
春銘仙特別賣出し 三・五〇 四・八〇
名古屋帶特別賣出し
仕立名古屋 一・三〇
同 二・五〇
うずらセル宣傳大賣出し
A 三圓四十錢　B 三圓七十錢

Surely シュアリー 冷凍機
アイスケーキ、冷藏倉庫、製氷機用冷凍機
◎國產ノ王座 シュアリー冷凍機ハ今ヤ全日本ノ王座◎◎◎
シュアリー冷凍機ハ他品ニ比シ幾倍ノ堅牢ト絶大ナル耐久力ヲ有シ而カモ外觀ノ優美ハ店頭ノ偉觀ニシテ工作ノ精密材料ノ嚴選等ハ既ニ業界ニ定評アリ
◎本社ハ益々內容ノ充實ヲ計リ目下本島ニ於ケル最高ノ販賣台數ヲ誇ル安心シテ使用ノ出來ルシュアリー冷凍機ヲ需要者各位ニ提供ス
◎取引ハ簡易。價格低廉。指導懇切
◎「カタログ」進呈御希望ニヨリ社員直ニ御伺說明申上グ
◎製作所 大阪市港區高尾町一丁目 株式會社 長谷川鐵工所
◎アイスケーキ用箸 [illegible]
在庫豐富
全臺灣南支南洋總代理店
臺灣冷凍工業株式會社
臺北市大和町三丁目八（電話六九二番）
◉特約店募集
急募 ◆外交員數名 女子タイピスト（本島人）[illegible]

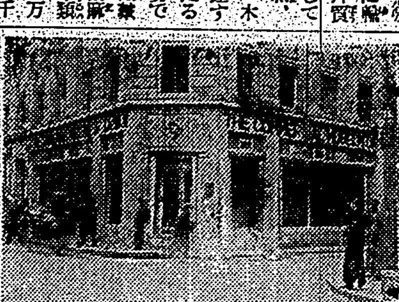
臺支貿易の
パイロット

上海に新設の臺灣物産陳列所

兩地間の取引斡旋に當る

田端殖産局長談

本年一月二十三日附勅令第九號に依り中華民國上海四川路豐號に府立の上海台灣物産陳列所を新設せられたるは台灣中華民國間貿易の増進上慶賀に堪へざるところである。上海台灣物産陳列所は本島實情の宣傳、物産の紹介に依り取引の斡旋を為し台支貿易の増進を計るを目的とし同陳列所内には本島物産並製作品を紹介陳列し、生産者を明示すると共に本島實情紹介の資料、統計書、印刷物等を整備して以て本島に關する調査並に商談に便ならしむることとした。而して其の業務は新規取引の仲介、斡旋、取引並に商品の改善に關する調査研究、取引關係調査の斡旋、市況の調査報道、其の他一般宣傳事業等を主なるものとし商工業者の善良なるパイロットたらんとしてゐるのである。惟ふに上海港は昭和十年全支貿易總額十五億九十九万銀元中貿易額七億九千六百七十二万銀元に達し實に其の五割三歩強を占むるを以て見るも明らかなる如く貿易上の首位に在り全支第一の市場たるは勿論背後に南京、漢口、慶安及杭州等の大都市を擁し中支に對し同市場より派生する商業網の廣大なるは更めて多言を要せざる處にして砂糖を初め本島物産にとり好適の市場である。翻へつて台灣對上海貿易の現狀を按ずるに昭和十年に於ける本島よりの輸出額は百四十七万八千円なるに上海よりの輸入額は四百十二万四千円にして輸出額は同年急激なる増進に拘らず尚未だ僅かに輸入額の三分の一にして甚しき片貿易の現狀に在るのである。而して輸出品は砂糖、包種茶、鳳梨罐詰、[illegible]、硫黄、石炭、木材等にして昭和十年百万円に達する砂糖の躍進的輸出増進を見たる外何れも十万円に滿たざる現勢で之に對し輸入品の主なるものは麥及ガンニー袋を筆頭に豆類、胡麻子、蒜頭、金針菜、綿布及藥草類で其の輸入額は實に二百三十一万五千円、ガンニー袋は卅一万一千円に達して居るのである。然りと雖も之を通觀するに輸入品は大體に於て農産品たるに反し本島輸出品は工業生産品或は農産加工品なるを以て上海は一面原料供給地とし、他面消費市場として期待せらるべきを感ずるのである



（寫眞は上海の臺灣物産陳列所）

概　要

一、名稱　上海台灣物産陳列所
一、場所　中華民國上海四川路豐號
一、所長　台灣總督府囑託　高木秀熊
一、經費總額　年約二万五千円
一、目的　台灣實情の宣傳、砂糖其の他物産の紹介に依り本島物産取引の斡旋及中支に於ける之に關する調査を為し貿易の促進を計るを以て目的とす
一、事業内容
(一)取引の紹介斡旋
1 新規取引の仲介斡旋
2 相場の調査
(二)台灣物産の見本陳列
1 特産物其の他物産の見本陳列
2 産業現狀の表示
3 取引店の明示
(三)取引の改善
1 取引系統の調査
2 上海向商品の改善
3 包裝、荷造の調査改善
(四)取引關係調査事務
1 砂糖其他各種物産取引狀況調査
2 上海市場調査
3 簡單なる信用調査の斡旋
4 代理店設置に關する調査斡旋
5 本島重要産業に關係ある事業調査報告
(五)其他台灣實情紹介の一般事業
1 台灣實情の宣傳紹介
2 台灣物産の宣傳廣告
3 印刷物の刊行配布

愈よ具體化した「臺拓」の事業計畫

第一着手は鹿港海岸の干拓

團地開墾、東部の苧麻栽培

台灣拓殖の昭和十二年度に着手事業は加藤社長就任以來慎重に準備進捗し目下總督府との間に具體的事項に關する折衝を進めてゐるが、現に目論まれてゐる新規事業は大體左の如きものである

干拓事業　先づ最初に着手される豫定地は台中州鹿港附近の海岸地帯でその面積約一千五百甲に及び、之は海埔地と海面の双方に亙るものである、海面の埋立は總督府の許可及び拂下げを受けることを要する外に海岸線の移動を來すので海軍側の諒解をも得ることになつてゐる、而して實際の事業着手は本年九月頃となるものと思はれるが、それ以前に即ち三月下旬頃から三週間に亙つて東京灣埋立會社の專門技術家に下見分をして貰ふ手筈になつて居り、之がため同社の顧問技士一行は三月二十日頃來台の豫定である

開墾事業　十二年度から開始豫定のものは一ケ所百甲歩以上の集團地で中南部方面を主として全島に九ケ所ばかりあり、之を總督府から拂下げを受け、相當の經費をかけて耕地化する、開墾が出來上れば小作に出すなり或は希望者に分讓するなり適當な利用方法を講ずることになるが何れにするも米作以外の特殊農作物栽培といふことを條件とする計畫である

東部の開發　台東と花蓮港の兩廳にまたがる鳥狩立台地以南の原野（總面積は七千甲餘）に先づ苧麻を栽培して東部開發の第一歩を踏み出す豫定である、此の方面も總督府から土地の拂下げを受けることを最も便宜であると考へてゐる樣だが、とにかく東部開發に就いては地元廳との連絡を緊密にし、場合によつては兩廳の開發計畫をその儘代行してもよい位の意氣込みを持つてゐる

財産の處分　現在の社有地たる一万五千甲の府出資財産は之を基本財産として永く保持し之より上る收益（年百三、四十万円）を以つて台拓運用の原動力とする意向である、一方新たに拂下げを受けたり或は民間から買上げた土地は小作地或は分讓地とし國策に從つて之を活用する方針である、尚ほ過般來募集中であつた小作契約は現在までに九八%程度の申込あり、之は五月一杯に契約の締結を了し之また小作料は昨年十一、二月の二ケ月は之を免除し本年一月分から徴收することになつてゐる（小作料の納期は前期は九月、後期は翌年の二月である）

貯蓄銀行

臺中支店

來月十日より開店

台灣貯蓄銀行にては業務膨脹の實狀に鑑み豫て台中市に支店開設の計畫を樹て當局に認可申請中であつたが二十四日附大藏省に於て正式認可せる旨財務局に入電があつた、同行では台中での營業は商工銀行支店を代理店とし今日に至つてゐたが、認可を得たので台中市榮町三ノ二に店舗を設け台北市南門出張所長高岸顯氏を初代支店長に任命した、尚ほ同支店の營業開始は準備の都合で來月十日、即ち全國勤儉貯蓄記念日を期し開店することになつた由である

臺灣瓦斯の米花專務辭任

廿五日重役會で決定

台灣瓦斯株式會社は從來辻本正春、米花伊太郎兩氏が專務取締役として業務を分擔し米花氏は工務部長と技師を兼ねてゐたが、今度都合により退職することとなり二十五日午後一時開催の重役會にて米花氏は專務を辭し同時に工務部長、技師をも退職、當分平取締役として名を列し後任技術者は近く內地より招聘し重役の補缺は七月の定時總會に附議することに決定した因に米花氏は台灣電力瓦斯營業所時代に所長を勤め昭和九年五月同瓦斯事業を分離し台灣瓦斯創立當時引繼がれて專務工務部長となつて今日に至つた人である、因に右重役會では高雄の瓦斯營業に關し協議する所あり四時散會した

糖商團日程變更

小林元次郎氏を團長とする關東北陸地方の糖商視察團一行六名は二十七日着北三月一日離台の豫定を變更し二十八日上り夜行にて嘉義發三月一日午前七時六分台北着二日迄台北滯在三日高千穗丸にて離台の事にきまつた

新營第二工場

落成式

廿五日盛大に擧行

【嘉義電話】鹽水港製糖が誇る新營第二工場は二十五日午前十一時四十分から同所に於て田端殖産局長、川村知事、岡田糖業試驗所長、西村台南州警務部長、林新營郡守、日糖永井、明糖中川、[illegible]糖見、新興陳啓峰の各製糖會社代表並に地方官民三百五十名參列して盛大な落成式を擧行、式は黒田重役の開式の辭、天野工務部長の工事報告に續いて槇社長の言々句々胸に迫る如き創業以來の同社の業績苦心談を式辭とし來賓側は田端殖産局長、川村州知事、岡田試驗所長、交通局鐵道部和田技師、林新營郡守、長田新營街長、農民代表楊允中の諸氏祝辭を述べ同零時半式を終り引續き盛大な祝賀會を催した

太沽運輸公司創立

【神戸二十五日發本社特電】興中公司、國際運輸、大連汽船の三社共同出資の太沽運輸公司は北支方面より石炭、棉花、鹽等の特産物を輸入する目的にて愈々創立される事になつたが資本金三百万円、社長は十河信二氏、四月より事業開始の豫定である

臺灣輸出商業組合總會延期

台灣輸出商業組合定時總會は二十六日開催の豫定であつたところ都合により三月四日に延期した

酒精專賣案と業者の陳情

【東京二十四日發本社特電】廣田前內閣は無水酒精、燒酎及び現行法による酒精の三つを專賣に移す計畫だつたが、現內閣は燒酎の專賣取止めを發表したので業者は當然酒精の專賣も取止めとなり唯無水酒精のみの專賣に進むものと期待した所、法案發表によれば九十度以上の酒精は專賣とすとあり當然現行法による酒精も專賣される事が明らかとなつたので全國酒精消費者同業聯合會及び全國酒精販賣有志會は左の理由で無水酒精の專賣のみに修正すべく猛運動を起す事になつた

一、ガソリンへ混入の場合、實際問題として九十九度以上の酒精でないと效果が期待出來ぬ

一、專賣の結果、業者は必然的に業務縮小或は廢業の已むなきに至る、即ち從來の取引は三十日乃至九十日の手形決濟で一方税金も無擔保で問屋側が一時負擔してゐた然るに專賣の曉は現金取引の上擔保を要求され又税金は生産者が八〇%問屋側が二〇%負擔してゐたが生産者が政府となる結果税負擔は問屋側が一〇〇%となつて業者の營業上の困難は甚だしい

大取組懸念に株式一齊下押す

―東京株式前場況―

【東京二十五日發】當限落の場面であるが大取組懸念の人氣一段と退化し買方の手仕舞賣り輻輳して來た爲め諸株一齊に軟化し場面全體に反動安商狀となつた、即ち紡績株は鐘紡旧新三円方低落、日清紡新、洋紡新一、二円安、人絹株も帝人、倉絹、東洋レーヨン新等一円內外方賣られ砂糖株は鹽糖旧新、沖繩糖一円四、九十錢安に反し明糖、新糖一円內外高となり軍需工業株は新潟鐵工、池貝、日立等一、二円內外方反落、古河電氣、鐵管、其他ラサ工業、合同油の三、四円急反落を始め洋モス、麥酒、日魯も一円餘伸悩み炭礦株は北炭新、九炭新、入山新も一、二円方安く船舶株も郵船、商船各一円二、七十錢方安く肥料電力、石油株は何れも一、二円內外安られ資金株は日産、日窒、三菱鑛二、三円方低落、東株は短期安を受け旧二円九十錢方、新二円四十錢方叩かれて引けた

短期は大取組懸念に場面は終始氣分強く新東は百五十九円六十錢と先限りに寄付き其身九円八十錢を見せたがアト次第に軟化し忽ち八円二、三十錢と崩れ大引に押目買に九円二十錢と小戻し其他大新、鐘新、日窒工、郵船、日鑛新、日[illegible]等も一樣に一、二円反落した

臺灣製鹽への割込重役は未定

曹達工場は動力料金次第

【基隆電話】吉野丸は二十五日午後二時基隆に入港したが日本曹達社長中野友禮氏は語る

・御承知の通り台灣製鹽と關係することとなつて二十七日同社の臨時總會が開かれるのでやつて來たのだが、同社重役の人事に就てトラブルが起つてゐるなんて言ふことはない、我社から重役を入れることになつてゐるが誰を入れるかまだ何名入れるか行つて見なければ分らぬ、今後台灣製鹽の製鹽事業擴張に就ては大いに考へてゐる、何しろ台灣は日本中で一番製鹽業は條件がよいのに今まで餘り發展してゐないのは寧ろ不思議な位だ、大いに研究し又督府の方にもお願ひして改良擴張に努力する、曹達工場を台灣に造ることも計畫してゐるが何しろ肝腎の動力料金の問題が解決しないのでね、電力の松木社長も大いに奔走されて努力はしてゐるが私の方の考へてゐる程安くならないので今すぐどうかうと言ふ具體案は出來てゐない

臺灣興業會社を王子製紙が後援か

故大川翁の遺志達成のため

王子側一行來臺はその前提

王子製紙會社の能率部長兼房長[illegible]氏外四名の社員は去十八日來台、十九日宜蘭に赴き翌[illegible]台灣興業の羅東、二結兩工場並に原料關係特に關聯に發生する **鬼萱** の採取地域等を綿密に視察し廿四日台北に引返し廿五日は新竹に赴き新竹製糖所其他を視察、即日歸北、廿六日南部に向ひ明治、台南製糖其他を視察する事になつた。一行渡台の用向きに就ては世間で兎や角憶測する向もあるやうであるが、台灣興業の本格的發展とバガスパルプの大成を圖る爲めに製紙界の

覇者 たる王子製紙の好意ある援助を受くる爲めに、豫め同社事業の內容を見てもらつたといふのが眞相である、蓋し台灣興業並に前半身の台灣紙業は故大川平三郎翁の創始事業であつて製糖業の副産物たるバガスを以てパルプを製造し將來台灣より年三十万噸以上のパルプを供給して外國よりの輸入を防遏國産自給の理想を大成すべく翁は晩年を此事業の爲に獻げる決心をなし不幸病氣の爲めその理想を果さずして昨年末病歿したのである、翁は曾て九州製紙を起して之の發展を待つて樺太工業を創立、九紙を之に合併し樺太にて年卅万噸の木材パルプ採取に成功したのであるが、後財界の異變に遭遇し姉妹會社の富士製紙と共に樺工を王子製紙に合併し昨年迄王子の顧問をしてゐた因縁がある、王子の藤原社長も大川翁の實力、手腕に敬意を表してゐたが翁亡き後は現重役の力のみでは翁の遺志たるバガスパルプの大成を期することは困難な點もあるので今後は王子製紙より必要なる技術者を送つてもらひ進んでは資本的の援助を受くる必要もあるといふので特に藤原社長に懇談した結果が王子社員の渡台視察となつたものである故に大川翁の七七日が濟んだら何う斯うと云つたやうな事は所謂憶測であつて又故大川翁の遺志を達成する爲めにもソンな輕々しいことは出來ないのだと消息通は語つてゐる

大藏省の裁定注目さる

內容更生せる華南銀行と配當

臺銀よりの負債整理案成り

或は配當具現か

華南銀行の下期決算總會は每年二月上旬早々開催を例としたが、今年は都合で二月二十六日と變更監督官廳へ届出した、右事由は當期決算と內容好轉に鑑み懸案たる株主配當開始につき、督府財務局の好意的斡旋により大藏當局へ最後的運動を試みるためで、有田副總理の上京は夫れがためである、同行下期決算は、前期より引續き一般經濟界の好轉乘に南洋投資にかけるゴム、鳳梨の値段局勢が非常に好結果を來し、貸金の回收や焦付利息の收入等もあり、大藏省指定の銷却は既に全部完了して居り滞銷却を充分にして尚年三四分配當程度なら充分な餘裕を以てする事が出來る內容である、又た台銀との間に持越して來た特殊資金五百万円の整理案も既に兩行間に手打成り、華南より先づ五十万円を返し、殘餘四百五十万円は今期より之を無利息にて三十万円宛十九ヶ年年賦で償還することに決した、從つて總督府財務當局に於ても今回は銀行側の配當開始要求に充分な理解を與へて居り、一日上京する山岸金融課長の要務中にはこの點にも觸れ大藏省に對し擁護的交渉が期待されるので、華銀としては從來にない好條件にバックされてゐる從て、三分配當は或は實現するかも知れないと注目されてゐる、尚今總會には重役が全部任期滿了となつてゐるがその改選がどうなるか、之も注目されてゐる

東西南北

內地も台灣も景氣が好く殊に台灣の躍進振りが廣く認識された爲めか近頃は知名の士や台灣に交渉を持つ實業家の來往が極めて頻繁である、必ずしも季節が好い時に適してゐるからでもないらしい▲滯台約一ヶ月、二十四日の大和丸で離台した相[illegible]明[illegible]社長は[illegible]に達したが、壯者も及ばぬほど元氣だ、此の元氣は明[illegible]、明[illegible]を始め關係會社[illegible]多く殆と休む暇なく頭を[illegible]かしてゐるから[illegible]

▲廿二日は台北のロータリー選例會に出席、午後一時半から親友の後宮老と一緒に淡水のゴルフリンクへお運び、廿四日も朝から獨りでゴルフに出掛け午後淡水から自動車で一直線に基隆へ……中には相馬老に會はうとして會ひそこなつた人もあらう▲三和銀行の田中常任監査役は高雄から台南、嘉南大圳、日[illegible]を經て台北、二十四日の[illegible]丸で[illegible]の途に就いたが、氏は[illegible]監査役[illegible]

と一緒に同支店にゐたさうで云はば古い友達である▲田中氏は督府の西村地方課長に風采が似てゐる、打見たところ四十そこそこにしか見えないが、學校生活を終へた時が二十一、二歲、卅四銀行以來約三十年と續いて行くと何うしても五十歲以上になる、大分得してゐる方だ▲去る二十日來台、二十四日南下した[illegible]製菓の大串常務も年よりは若く見える方だ、森永に入つてから二十八年になるといふから[illegible]目に見ても五十以下といふことはないが、四十代に見えるのは[illegible]

來台、二十四日離台した丸[illegible]の醸造元[illegible]田傳左衛門氏は[illegible]萬醬油會社の社長茂木七左衛門氏の實弟で同社の相談役、又茂木家一族と高梨家一族の出資經營に係る東京小網町にある合資會社小網商店の社長で、明治四十一年[illegible]當時に來台してから殆んど三十年振りださうである▲丸[illegible]は[illegible]島の代理店をやつてゐるが、今度は序に龜甲萬の販路も視察し[illegible]小網商店が食料問屋として年取引高二千万円に上つて居り本島の販路[illegible]にも手を擴げんとしての視察とある

商況（廿五日）

島內米肥

臺米現物相場

	蓬萊高雄 在來臺北	前日對比
北部二期在來米	一八、八〇	同
中部二期蓬萊米	一〇、六〇	五安
南部二期蓬萊米	一〇、七四	五安
北部二期蓬萊米	一〇、〇〇	三安
中部二期丸糯米	一〇、五〇	三安
南部二期丸糯米	一〇、〇六	二安
中部二期長糯米	九、七八	二安
南部二期長糯米	九、〇五	五安

基隆在庫米

二十五日現在

二期蓬萊米	四二、四九七袋
二期蓬萊白米	六、八一七
一期丸糯米	五、九三三
二期丸糯米	七、九二二

高雄在庫米

二十五日現在

二期蓬萊米	二三、三七六袋
二期丸糯米	五、一四三
二期長糯米	五、二九七
二期在來米	二、七五八
一二期丸糯白米	一、九〇七
二期在來白米	五四三
到著米	七九車（八八六袋）

正米市況後場

	當限	中限	先限
▲二期蓬萊米	一〇、六七	一〇、六三	一〇、六二
	六六	六二	六三
	三三車	一八車	六四
▲二期丸糯米	一〇、一三	一〇、二六	一〇、三六
	一三車	三車	二車

島內肥料相場

現物北部倉渡

大豆粕	二円三八錢
獨安	[illegible]
內地硫安	一〇円三〇錢
過燐酸（七貫九入一五%）	一〇円二〇錢
同（七貫五入一九%）	一円三三錢
硫酸加里四八%	一四円〇五錢

期米

大阪期米後場

節	當	中	先
一	[illegible]	三一、八六	三一、八九
二	[illegible]	八四	八九
三	[illegible]	八四	八九
四	[illegible]	八四	八九
五	[illegible]	八四	八四
六	[illegible]	八〇	七三

東京期米後場

	寄	高	安	引
中	三二、一一	[illegible]	[illegible]	三二、一九
先	一〇	[illegible]	[illegible]	一九

神戸期米後場

	寄	高	安	引
中	三〇、八〇	[illegible]	[illegible]	三〇、八六
先	六九	[illegible]	[illegible]	六四

各地期米引跡氣配

大阪七一、三〇錢　東京一七、九〇錢　神戸六二、四〇錢

各地正米

東京十錢安（他不變）

堂島兩建控除俵合

中限　一〇三、二〇〇石　賣方　北川以下十七店　買方　小河以下九店
先限　九二、二〇〇石　賣方　木村以下十一店　買方　小河以下十六店
木日兩來高　一五〇、一〇〇石

堂島前場先限主なる手筋

賣方　地場筋、台灣筋
買方　東京正米筋、朝鮮筋、[illegible]筋

堂島前場先限主なる手振

賣方　當地七〇〇同米、田中六〇〇上田、片山五〇〇
買方　福井、田中金一一、〇〇〇
渦先七〇〇小河五〇〇

堂島米況前場

【大阪二十五日發】株式安に先は八丁安の卅一円九十九錢と寄付き强氣の熱心買に四円〇三錢まで戻したがこの邊高値買物續かず又も台割れとなり新落止めは當限〇四錢と平穩に納會を告げ先限は九十二錢と安値止めの不勢に終つた

堂島米況後場

【大阪二十五日發】前場ボンヤリの氣先後場は當限落なので商內閑散の所へ正米筋弱氣の賣物に壓せられ三十二円八十九錢と三丁方下放れて寄付き西部まで焦付きアト戸の急落に八十四錢から七十三錢に叩かれて引けた

堂島雜觀

【大阪二十五日發】東京市場の無氣商情と株式安に弱値摑みの嫌氣投げとなり三十二円四円割れの一円台へ下押したが當限落に迷はれてゐた相場だけに當限落後の末先れを案ぜされ目先一段の安値もあらうと見られてゐる

株式

大阪長期後場

銘柄	寄	引
大株	一〇一、二〇	[illegible]
大新	九六、八〇	[illegible]
東新	一六〇、一〇	[illegible]
鐘紡	二五二、九〇	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
その他	[illegible]	[illegible]

北濱雜觀

【大阪二十五日發】昨日の不勢況を受け今朝はアメリカの株式高も反響なく日糖の上寄の外は何れも下放れて寄付き殊にラサ工業の大反落は全面的總賣人氣となりしも後半は三品市場の下支へに賣物薄らぎ人氣稍々落着模樣となり諸株小戻し歩調となつた

東京短期後場

銘柄	寄	引
東新	一五九、一〇	[illegible]
大新	九五、八〇	[illegible]
鐘紡	二五一、九〇	[illegible]
その他	[illegible]	[illegible]

東京株式閣氣配

【東京二十五日發】長期閣氣配當限受渡準備の爲め長期は休會だが長短期取組膨脹に依る玉整理人氣も一脈押目を形造つたので新東後利されも材料含みのものに早くも値付筋に買拾はれて來た、短期、新東も投物一巡で尻付け抜け思ひの新規買も弗々注ぎ出され百五十九円十錢から九円八十錢まで引締め結局九円五十錢と手堅く大引け系金株に於ける[illegible]係で頭重く整理未了の觀深い人絹株は落ち着き模樣となり鐘紡を始め重工業株も先行樂觀から押目を狙はれてゐる日魯新に拂込接近を傳へ九十五円八十錢の新高値をつけ注目さる

大阪短期後場

銘柄	寄	引
[illegible]	六六、二〇	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

絲況

橫濱生絲後場

	寄	引
七月限	八三五、〇	八四四、〇〇

砂糖

大阪清算後場

大阪三品市場後場は受渡準備のため休會

穀肥

神戸豆粕後場

	寄	引
二限	[illegible]	[illegible]
三限	[illegible]	[illegible]
四限	[illegible]	[illegible]
五限	[illegible]	[illegible]
六限	[illegible]	[illegible]

神戸硫安相場

[illegible]	三円六〇、五錢
[illegible]	三円四〇、五錢
[illegible]	九〇二円

新發賣

東京帝大內科で十數年、臨床實驗の
醫學博士　井早彦生氏研究創製

胃腸にトモサン

創製に就て

現在、胃腸藥は無數にありますが、胃腸患者の數も實に多く、全人口の約四割に達するとさへ言はれて居ます。ここに鑑み、井早博士始め他の專門家が、多年にわたり協力苦心の結果、つひに創製したのが新胃腸藥トモサンであります。

組成と本質

新胃腸藥トモサンは、消化劑でも、榮養劑でも、酵母劑でも、また無論、重曹主劑の胃腸藥でもありません。新研究の制酸、被覆、吸著劑（微アルカリ性、活性珪酸アルミニューム）と植物性の殺菌劑とを綜合した藥品であります。即ち、胸やけがするのも、消化が惡いのも、下痢するのも、便秘するのも、榮養を吸收しないのも、すべて胃腸機能に障害があるからである。故に胃腸病に對し、消化劑、或は榮養劑も必要であるが、それ以上に先づ胃腸障害を除く事が先決問題であると言ふ理論に基き、創製したのであります。

藥理作用

一、胃の分泌腺を整調し、同時に胃と腸の粘膜の炎症、糜爛部を治療す。
二、腸內の有害細菌を殺菌し、胃腸內の毒素、腐敗物を吸著して體外へ排出す。

トモサンの藥理作用は右の如く、極めて簡明であります。しかしながら此の作用は、胃腸の障害に對し、次の如き治療效果を有するのであります。

治療的效果

第一に、胃腸が整調すれば、胃の酸の分泌は多からず少なからず正常となり、從つて胸やけ、食もたれ、胃酸等の症狀は、減退するのであります。また胃と腸の粘膜の炎症、糜爛が治癒されゝば胃と腸の內壁は自ら强壯となり、胃痛、腹痛等は輕快し食物は消化され榮養分の吸收率も高まるのであります。

第二に、腸內の有害細菌を殺菌し、また毒素と腐敗物を吸著して大便中に排出すれば、下痢、異常醗酵、腹鳴、鼓腸、便秘等の症狀は消失するのであります。トモサンが食餌中毒、蕁麻疹等に奏效するのも、胃腸內の毒素と腐敗物を吸著して、大便中に排出するからであります。

斯くの如くトモサンは、胃腸の障害を治療し、胃腸をして胃腸本來の機能に復さしむる事を主眼とした所に、新發賣の價値と意義を有するのであります。從つて未だ發賣早々ではありますが、トモサン愛用者は日に日に增大しつゝあります。

故に急激なる下痢、嘔吐、腹痛は勿論の事、たとへ多年にわたる慢性胃腸病に對しても是非トモサン服用の上、今までの胃腸藥といかに相違するか、御實驗あらんことをお奬めします。

適應症

胃酸過多、急性慢性胃腸カタル、醗酵性下痢、慢性下痢、腸內異狀醗酵、鼓腸。過飲過食、宿醉、噯氣、食慾不振、常習便秘、自家中毒、食事中毒、蕁麻疹、黃疸。消化不良、小兒綠便及粘便。

價格頗る低廉！
九〇錠入（十日量）七〇錢
二七〇錠入（一ヶ月量）一圓五〇
八〇〇錠入（徳用）三圓七〇

著名藥店、デパート藥品部にあります
品切れの時は直に販賣元へ御註文を乞ふ
內地に限り代金引換にても即時發送す

藥種貿易商　東京市日本橋區本町三ノ一
販賣元　友田合資會社
電話日本橋（24）[illegible]
振替口座・東京・一九三八
［トモサン說明書進呈］

T.10